

婦人の地位に関する実態調査

—結果報告書—

昭和47年

労働省婦人少年局

は し が き

昭和47年5月、総理府に「婦人に関する諸問題調査会議」が設置され、婦人の地位の現状、家庭、社会における婦人の生活状況等について今日の問題を明らかにし、婦人に関する施策の推進に資するため、47、48両年度にわたって「婦人に関する諸問題の総合調査」を実施しているが、労働省は、総理府と協力して調査全般を企画、実施している。

この調査は、「婦人に関する諸問題の総合調査」の一環として婦人少年局が実施したものである。

調査の結果が、婦人問題に関心のある方々のご参考になれば幸いである。

調査の実施にあたって、ご協力いただいた対象者ならびに関係者の各位に厚くお礼申しあげる。

昭和48年3月

労働省婦人少年局

目 次

調 査 の 概 要	1
調 査 結 果 の 要 約	3
調 査 結 果	8
Ⅰ 世帯の状況	8
1. 家族員数	8
2. 同居の親族	8
3. 調査対象者の年令	9
4. 夫の年令	9
5. 妻の学歴	9
6. 夫の学歴	10
7. 世帯収入	10
Ⅱ 妻の職業	11
1. 現在の職業	11
2. 結婚前の職業	12
3. 続けて勤めていたか	12
4. いつまで勤めを続けるか	13
5. 地位の高い人になることと地位の高い人の妻になること	13
Ⅲ 夫との関係	14
1. 夫の職業	14
2. ひけ目を感じるか	14
3. 共通の趣味たのしみはあるか	14
Ⅳ 主婦の役割と地位	15
1. 家計管理者	15
2. 子どものしつけや教育について考える人	15
3. 貯金の名義	16
4. 貯金の出し入れをする人	17
5. 結婚前からの財産は自由になるか	17
6. 家の名義	18
7. 離婚にさいしていくら請求するか	18

V	つきあい、社会関係	19
1.	つきあっている相手	19
2.	団体役員をしたことがあるか	19
3.	県や市町村のニュースを読んでいるか	20
4.	近所めいわくの処置	20
5.	子供のしつけ子育て方についての知識をどこから学ぶか	21
6.	心配ごとを相談する相手	21
VI	配偶者選択、結婚へのプロセス	22
1.	夫と知りあった関係	22
2.	結婚相手として紹介されたか	22
3.	結婚はふたりできめたか	23
4.	婚約中の交際の程度	24
5.	結婚後の生活設計について話しあったこと	25
6.	妻の職業についての話しあい	25
7.	妻と夫の年齢比較	27
8.	妻と夫の学歴比較	27
9.	妻の父の職業と夫の父の職業	28
10.	妻と夫の実家の経済的地位比較	28
11.	姓が変わることについて	29
VII	満 足 感	30
1.	女に生れたいか、男に生れたいか	30
2.	現在の生活に満足か	31
	統 計 表	33
	調 査 表	62

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

本調査は、「婦人に関する諸問題の総合調査」の一環として、婦人の地位に関する実態を明らかにする目的をもって実施した。

2. 調査の地域および地点

沖縄を除く全国128地点

都 市 61地点（住宅団地）

農 村 67地点

住宅団地は日本住宅公団の管轄する団地（賃貸、分譲を含む）のうちから選定

農村は、農林省が設定した農林統計に用いる経済地帯区分のうち、平地農村および農山村に該当する町村のうちから選定

経 済 地 帯 別 基 準 指 標

経済地帯名	基 準 指 標 （旧市町村単位）			
平 地 農 村	耕 地 率			30%以上
	林 野 率			50%以下
	専 業 農 家 率			40%以上
農 山 村	耕 地 率	10%以上		30%以下
	林 野 率	50%以上		80%以下
	専 業 農 家 率			40%以上
	林 業 兼 業 農 家 率	5%以上		10%以下

3. 調査の対象者

満20才以上50才未満の有夫の婦人2,560人（都市団地1,270人、農村1,290人）

ただし、有効回収数 2,437人（都市団地1,161人、農村1,276人）

（一地点サンプル数は原則として20人、住民基本台帳による無作為抽出）

4. 調査実施時期

昭和47年12月11日～昭和48年1月25日

5. 調査方法

面 接 法

6. 調査事項

- (1) 世帯の状況
- (2) 妻の職業
- (3) 夫との関係
- (4) 主婦の役割と地位
- (5) つきあい、社会関係
- (6) 配偶者選択、結婚へのプロセス
- (7) 満足感

調 査 結 果 の 要 約

1 世帯の状況

（家族の構成） 都市団地では夫婦だけか夫婦と子供だけの世帯が殆んどであるが、農村では夫の親やきょうだいと同居するものが多く、ことに25才未満の若妻は、64%が親（主として夫の）と、24%が夫のきょうだいと同居している。平均家族員数は都市団地3.2人、農村5.3人である。

（妻と夫の年齢） 妻の平均年齢は団地33.2才、農村37.7才、夫の平均年齢は団地36.4才、農村40.4才である。

（妻と夫の学歴） 妻の学歴は、高卒以上が団地86%（うち大卒20%）、農村43%（大卒5%）と、団地の方がかなり高いが、農村では年齢層による差が大きく、若い層ほど学歴が著しく高まっている。

夫の学歴は、団地では大学卒が約半数を占め、全体として妻の学歴より高いが、農村では中卒と高卒が大部分を占め、妻の学歴分布との間に大きな差がない。

（世帯収入） 両地域とも年100万円～200万円層に半数から過半数が集中しているが、残りの約半数については都市団地の方が高い層への分布が多い。団地では妻が雇用労働または自営業に従事する世帯の収入は高いが、農村では妻の職業の有無やその種類による世帯収入の差は殆んどみられない。

2 妻の職業

（現在の職業） 現在仕事をもつ者の割合は都市団地27%、農村72%。農業を含む自営業はもちろん、雇用労働従事者の比率も農村の方が高い。また、団地の雇用者は「普通の勤務」と「パートタイム」が半々であるが、農村の雇用者は8割までが「普通の勤務」である。内職者は両地域とも約10%である。

（結婚前の職業） 結婚前に仕事をもっていた者の割合は都市団地88%、農村76%。団地では82%が、農村では52%が雇用者であった。雇用者であった者の割合は両地域とも若年層ほど高い。

（勤めを継続してきた人） 結婚前から現在までずっと続けてどこかに勤めていたという人の割合は、団地で全対象者の5%、農村で9%である。

3 夫との関係

（夫の職業） 団地では89%が雇用、11%が自営業（主として「商、工、サービス」）である。農村でもやはり雇用者の比率が高く54%、自営は45%（農林漁業24%）である。

(夫にひけ目を感じるか) 自分に収入がないことで多かれ少なかれ夫にひけ目を感じるという人は、都市団地で無職者の13%、農村で32%である。

(共通の趣味やたのしみ) 都市団地の61%、農村の41%が夫と共通の趣味やたのしみをもっている。

4. 主婦の役割と地位

(家計の管理) 都市団地では殆んどが妻自身で家計の管理をしているが、農村では自分がするのは66%、他は夫か夫の親が管理者となっている。

(子供のしつけや教育について中心になって考える人) まずしつけについては、両地域とも「自分」が約半数、「夫と自分の両方」が団地41%、農村32%、「夫」は少ないが、農村の方に7%ある。

教育については両地域とも「夫と自分の両方」が過半数を占める(団地63%、農村51%)。「夫」は農村の方に多い(17%)。しつけについても教育についても「その他の家族」が主になるものの比率は農村においても極めて低い。

(貯金の名義) 妻名義の貯金をもつ者の割合は団地52%、農村38%である。

(貯金の出し入れをする人) 団地では82%が「自分」である。農村では55%が「自分」、25%が「夫」、8%が「その他の家族」である。

(結婚前からもっていた貯金等は自由になるか) 両地域とも9割が「自由になる」といっている。

(持家の名義) 団地では91%が夫の名義で、妻名義は1件もなく、夫と妻の共同名義が6%ある。農村では夫かその他の家族の名義が大部分で、妻名義が2%あり、共同名義は殆んどない。

(もし離婚するとき家に1,000万円の財産ができていたとしたらいくら請求するか) 答えた平均金額は、都市団地575万円、農村515万円である。

5. つきあい、社会関係

(よくつきあっている相手) 都市団地では、「隣近所の人たち」(68%)、「子供の友達の親」、「学校友達」、「同居以外の親類」の順である。農村では「隣近所の人達」(77%)、「同居以外の親類」、「職場の人・仕事仲間」を挙げた者が多い。しかしよくつきあっている相手は年齢層によってかなり相違する。よくつきあっている相手がとくにないというものが若干あるものが、両地域とも若い層に多く、とくに団地の20~24才層に多い(13%)。

(地域の団体役員をしたことがあるか、頼まれれば引受けるか) 都市団地ではほぼ3人に1人が、農村では半数が、団体役員をした経験をもっている。将来もし頼まれれば引受けるという人は団地

で22%、農村では32%である。

(県や市町村のニュースを読んでいるか) 都市団地の73%、農村の56%が「いつも読み」その他の大部分は「時々読む」。「ほとんど読まない」ものは僅かである。

(近所の家でラジオの深夜放送を大きな音でかけるので迷惑するときどうするか) 「その家の人と話しあう」が団地43%、農村44%、「何もしないでがまんする」がともに37%で、両地域ともほかの答をした人は少ない。40才代では「がまんする」人の方が多い。

(子供のしつけ育て方についての知識をどこで学ぶか) 都市団地では「雑誌や本」が最高で72%、あとは「親」、「テレビ・ラジオ」、「近所の人」の順に多い。農村では「親」(57%)が最も多く、「雑誌や本」、「テレビ・ラジオ」、「近所の人」などが次いでいる。

(心配ごとを相談する相手) 団地でも農村でもほぼ85%の人が「夫」をあげており、次いで「その他の家族」がともに約4割、「近所の人」が1割で、他の相談相手をあげた者は少ない。

6. 配偶者選択、結婚のプロセス

(夫と知りあった関係) 都市団地では「職場関係」で夫と知りあった者が最も多く、「家族・親類の知りあい」、「友人の知りあい」がこれに続く。農村では「家族・親類の知りあい」が最高で、あとはずっと少なく「親類関係」、「友人の知りあい」、「職場関係」の順となる。しかし農村でも若い層には「職場関係」が多く、20才代では「家族・親類の知りあい」に次ぐ比率となっている。

(結婚はふたりできめたか) ふたりできめた人は、都市団地78%、農村33%。ただし若年層ほどその比率が高く、20~24才では団地90%、農村63%である。

親や周囲の反対を押し切って結婚した人は団地に19%、農村に12%あるが、やはり若い層に多い。周囲からすすめられて不満な結婚をした者が農村に7%あり、ことに高年齢層に多いが、団地にはほとんどない。

(婚約中の交際の程度) 都市団地では、自由に交際したものが64%、殆んど交際しなかったものが5%であるのに対し、農村では「自由に交際」26%、「殆んど交際なし」35%と後者の方が多い。両地域とも「自由に交際」は若年層ほど多く、とくに農村では年齢層間のひらきが大きい。

(結婚後の生活設計について話しあったこと) 都市団地では「住居のこと」を話しあった者が最も多く(46%)、次いで「家計のこと」、「自分の職業のこと」、「親のこと」などが多く話しあわれている。農村では「家計のこと」(33%)、「住居のこと」、「親のこと」、「夫の職業のこと」の順である。

(結婚後仕事をもつかどうかについての話しあい) 団地では話しあった者の方が多く、農村では話しあわなかった者の方が多いが、若い層ほど多くのものが話しあっており、20~24才層では団地の72%、農村の80%が話しあっている。

話しあいの結果は、団地では「当分仕事をもつことにした」者が約半数、「ずっと仕事をすることにした」者と「家業に従事することにした」者がほぼ1割ずつ、あとの3割は「仕事は何もしないこと」にきめている。農村では、「家業に従事」34%、「ずっと仕事をもつ」29%、「仕事はしない」11%である。

どちらの意見でそうきまったかについては、「ずっと」にせよ「当分」にせよ仕事を持つことにした場合は「二人の意見で」が多く、「夫の意見で」というものは少ない。しかし、「家業に従事」する場合は「夫の意見で」がかなり多く、さらに「仕事はしないことにきめた」場合は「夫の意見で」がいっそう多くなっている。この傾向は団地も農村も共通である。

(妻と夫の年齢比較) 夫が年上の夫婦が大部分であるが、同年が団地に10%、農村に8%、妻が年上が団地に8%、農村に6%ある。

(妻と夫の学歴差) 団地の妻の58%、農村の71%が同学歴の夫をもつ。夫の学歴が上のは団地に多く(38%)、妻が上のは農村の方に多い(11%)。

(妻の父の職業と夫の父の職業) 妻の父と夫の父が同種類の職業である夫婦の比率は団地では32%であるが、農村では50%と高い。団地ではその半数以上が「管理、専門技術、事務職」のいわゆる「ホワイトカラー」であり、農村では、その大半は「農林漁業」である。

(妻と夫の実家の経済的地位比較) 両地域とも、「妻の実家の方が上」、「夫の実家の方が上」、「同じ位」がほぼ同率である。

(姓が変わることについて) 結婚で姓が変わった人は都市団地で97%、農村で91%である。

姓が変わることをどう思ったかについては、団地の73%、農村の81%が「何とも思わなかった」といっており、「できれば変えたくない」というものは両地域とも9%にすぎない。変えたくない理由は「元の姓が好きだから」、「抵抗を感じる」、「何となく」がほぼ同率である。

7. 満 足 感

(もう一度生れ変るとすれば女に生れたいか、男に生れたいか) 都市団地では「女に生れたい」人の方が「男に生れたい」人より多く(47%と39%)、農村では反対に「男に生れたい」人の方がやや多い(42%と45%)。

「女に生れたい」理由は「現在満足だから」が最も多く、「職業の苦勞がないから」、
「家事育児が好きだから」が次に多い。「男に生れたい」理由としては、過半数が「男の
方が能力が伸ばせるから」といっている。

(現在の生活に満足か) 「満足」か「まず満足」なものは両地域とも79%を占め、不満
な者は少ない。満足な者の割合は世帯収入の高い層ほど多く、不満な者は収入の低い層ほど多い。

不満の内容としては、都市団地では、住宅に関すること、夫に関することが最も多く、農村では、
家計に関すること、夫に関することをあげたものが多い。

調 査 結 果

I 世 帯 の 状 況

1. 家 族 員 数

問 あなたのご家族は何人ですか？

〔注：家計を共にする同居家族。ただし出稼ぎや就学のため現在家にいない者も家族に含める〕

	総 数		2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	平 均
	実 数	%							
都市団地	1,161	100.0	10.2	28.8	48.9	10.1	1.7	0.3	3.2 人
農 村	1,276	100.0	2.7	11.6	27.9	25.6	18.3	13.9	5.3 人

都市団地では4人家族が約半数、4人以下が88%を占めるのに対し、農村では4人と5人が最も多く、4人以上が86%を占める。平均家族員数は団地3.2人、農村5.3人である。

2. 同 居 の 親 族

問 あなたとご主人のご両親のうちあなたといっしょに暮らしおいでの方がありますか？

ご主人のごきょうだいであなといっしょに暮らしおいでの方がありますか？

お子さんはおありですか？

	総 数		同 居 の 親					夫のきょうだい との同居			子 供	
	実 数	%	妻 の 父	妻 の 母	夫 の 父	夫 の 母	同居 の親 なし	ある	ない	不明	ある	ない
都市団地	1,161	100.0	—	1.0	0.7	2.6	95.7	0.7	99.2	0.1	89.0	11.0
農 村	1,276	100.0	2.8	4.2	24.7	37.8	50.7	7.0	93.0	—	96.2	3.8

夫の親や自分の親と同居するものは、都市団地では極めて少ない（4%）が、農村では約半数が1人または2人の親（主として夫の）と同居しており、とくに夫の母と同居するものが38%ある。団地では年齢層による差はないが、農村では若い層ほど親との同居が多い（20～24才64%、

45～49才 36%)。

夫のきょうだいと同居するものは、都市団地では1%に満たないが、農村では7%あって、年齢階層による差が大きい(20～24才 24%、30～34才 10%、45～49才 2%)。

子供のいないものは都市団地では11%、農村では4%である。20～24才層でも、団地の62%、農村の67%が子供をもっている。

3. 調査対象者の年齢

	総 数		20～	25～	30～	35～	40～	45～	平 均
	実 数	%	24才	29才	34才	39才	44才	49才	
都市団地	1,161	100.0	5.3	25.6	31.9	20.2	10.9	6.1	33.2 才
農 村	1,276	100.0	4.3	12.9	17.3	20.2	22.9	22.4	37.7 才

都市団地では25才から34才までに過半数が集まっているのに対し、農村では35才以上が過半数を占める。平均年齢は団地33.2才、農村37.7才である。(本調査の対象者は20才以上50才未満の有夫の婦人である。)

4. 夫 の 年 令

	総 数		～24	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60才	平 均
	実 数	%	才	29	34	39	44	49	54	59	以 上	
都市団地	1,161	100.0	1.3	10.6	31.8	27.6	15.2	7.9	4.1	1.3	0.2	36.4 才
農 村	1,276	100.0	1.2	8.3	15.0	18.6	22.3	18.7	10.1	4.3	1.5	40.4 才

都市団地では約60%が30才代であるのに対し、農村では30才代後半と40才代に60%が分布している。平均年齢は団地36.4才、農村40.4才、平均で妻との差は団地で3.2才、農村で2.7才である。

5. 妻 の 学 歴

問 あなたが最後に行かれた学校はどこですか？

〔注：中退、在学中を含み、各種学校を除く〕

	総 数		小学校 以 下	高 小 新 中	旧 中 新 高	旧 専 大 学
	実 数	%				
都 市 団 地	1,161	100.0	0.2	13.6	66.2	20.0
農 村	1,276	100.0	5.5	51.9	38.1	4.5

都市団地では高卒が主流を占め、大卒も2割に達し、年齢層間の差は大してみられない。

農村では中卒が52%、高卒以上は43%であるが、年齢による差が大きく、若い層ほど学歴が著しく高まっている。高卒以上の割合は、20～24才で66%（うち大卒9%）、30～34才で44%（大卒6%）、45～49才で34%（大卒4%）である。

6. 夫 の 学 歴

問 ご主人が最後に行かれた学校はどこですか？

	総 数		小学校 以 下	高 小 新 中	旧 中 新 高	旧 専 大 学
	実 数	%				
都 市 団 地	1,161	100.0	0.1	8.7	41.4	49.8
農 村	1,276	100.0	5.6	51.8	33.1	9.4

都市団地では大学卒が約半数を占め、中学以下は1割に満たず、全体として妻の学歴より高いが、農村では中卒と高卒が大部分を占め、妻の学歴分布との間に大きな差がない。

7. 世 帯 収 入

問 お宅では、家族全体で昨年一年間の収入は、どの位でしたか？

〔注：雇用者世帯では収入は税金を除いた手取り額、家業の場合は家計収入とする〕

	総 数		70 万円 未満	70～ 100 万円	100～ 150 万円	150～ 200 万円	200～ 300 万円	300 万円 以上	不 明
	実 数	%							
都市団地	1,161	100.0	1.0	4.0	27.8	34.3	22.7	7.1	3.1
農 村	1,276	100.0	8.0	14.7	27.9	20.5	11.7	6.4	10.8

都市団地の61%、農村の48%が100～200万円層に集中しており、その他は都市団地では大部分が200万円以上に、農村では200万円以上と100万円未満にほぼ半々の割合で分布

している。

妻の年齢別でみると、都市団地では高年齢になるほど収入の高いものが多くなる（45～49才では200万円以上52%）が、農村では年齢による差はそれほど顕著でない。

妻の学歴別では、両地域とも学歴が高くなるほど高収入層への分布が多くなる。

妻の職業別では、都市団地では、妻が雇用労働または自営業に従事する世帯の収入は高い（何れも200万円以上約4割）が、農村では妻の職業の有無やその種類による世帯収入の差はほとんどみられない。

妻の職業

1. 現在の職業

問 あなたは現在家事のほか何か仕事をもっておいでですか？（内職を含みます）

〔注：団体役員等の名誉職は含まない。2種類以上の仕事をもっている場合は働く時間の長い方をとる。〕

	総 数		雇 用				自 営 業					内職	無職
	実数	%	計	普通 の 勤 務	パート タイム	不 明	計	農 林 漁 業	商 工 サー ビス	自 由 業	不 明		
都市団地	1,161	100.0	14.0	7.0	7.0	—	3.0	—	2.1	0.9	—	9.8	73.2
農 村	1,276	100.0	29.6	23.3	6.2	0.1	41.3	24.6	16.0	0.6	0.1	11.1	18.0

〔注：自営業は自営業主および家族従業者〕

現在なんらかの職業に従事しているものの割合は、都市団地27%、農村72%と、農村において格段に高い。農林漁業を含む自営業はもちろん、雇用労働も、従業者の比率は農村の方が高い。また、都市団地では有職者の過半数を占める雇用者（全対象者の14%）は、「普通の勤務」と「パートタイム」が半々であるが、農村の雇用者（30%）はその8割までが「普通の勤務」である。内職者は両地域とも約10%である。

年齢別にみて有職者の比率のもっとも高いのは、都市団地、農村とも40才前後である。

都市団地では学歴と有職率の間にほとんど関係がみられないが、農村では学歴の高い層に無職の者が多い傾向がみられる。

子供の有無でみると、都市団地では子供のある者は24%（うち雇用11%）しか仕事をもっていないが、子供のない者は52%（雇用40%）が仕事に就いている。農村では、有職者の比率は子供のある者となない者の間に差はないが、雇用者だけについてみるとやはり子供のない者の就業率

が高い（ある者29％、ない者47％）。しかし団地ほどのひらきはない。

2. 結婚前の職業

問 あなたは結婚前に何か仕事をもっておいででしたか？（内職を含みます）

	総 数		雇 用				自 営 業					内職	無職
	実数	％	計	普通 の 勤務	パート タイム	不明	計	農 林 漁 業	商 工 サ ー ビ ス	自 由 業	不 明		
都市団地	1,161	100.0	82.4	81.2	1.1	0.1	4.5	0.4	2.9	1.1	0.1	0.7	12.4
農 村	1,276	100.0	52.1	51.4	0.7	—	21.2	17.9	2.4	0.9	—	2.3	24.4

結婚前に職業をもっていた者の割合は都市団地で88％、農村で76％である。都市団地ではそのほとんどが「雇用」であり、農村でも52％が「雇用」であった。雇用者だったものの割合は両地域とも若年層ほど高い（20～24才 団地90％、農村75％）。

3. 続けて勤めていたか

問 （現在も結婚前も「雇用」の人にきく）

あなたは結婚前からいまで大体ずっとつづけてどこかに勤めておられましたか？

	結婚前も今も 「雇用」の 人 総 数		大体つ づけて 勤めて いた	一 時 期 中 断 し た						断続的 に勤め ていた	その他	不明
	実数	％		計	～2 年	3～ 5年	6～ 10年	11年 以上	不 明			
都市団地	153	100.0	39.8	45.1	11.1	13.1	13.7	5.9	1.3	11.1	2.0	2.0
農 村	227	100.0	47.6	42.2	7.0	8.8	16.3	10.1	—	8.8	0.9	0.5

現在勤めており結婚前も勤めていた人のうち、ずっと続けてどこかに勤めていたという人は、都市団地では40％、農村では48％である。これは現在勤めている人全体のそれぞれ38％、29％に当り、全対象者の5％（団地）と9％（農村）に当る。全対象者の年令別では、団地では20才代6％、30才代と40才代はいずれも5％、農村では20才代12％、30才代10％、40才代4％である。

一時中断した人の中断期間はまちまちだが、子供のある人は両地域とも6年以上が大部分である。

4. いつまで勤めを続けるか

問 〔現在「雇用」の人につき〕

あなたはこれからさき勤め先をかえることがあるとしても、勤めは続けるつもりですか。

いつまで続けるつもりですか？

	現在「雇用」 の 人 総 数		間もなくやめ るつもり	子どもが生ま れるまで	つづく 限り長く	定年 まで	その他	わから ない	不 明
	実 数	％							
都市団地	1 6 2	100.0	8.6	10.5	57.4	7.4	2.5	13.0	0.6
農 村	3 7 8	100.0	3.7	3.4	64.3	7.4	5.8	13.0	2.4

都市団地でも農村でも「続く限り長く勤める」というものが過半数を占め、農村の方がその比率が高い。また両地域とも30才代にその答が多い。「子供が生まれるまで」というものは都市団地に多く、20～24才層での割合は団地68％、農村25％である。

5. 地位の高い人になるとと地位の高い人の妻になると

問 あなたは、社会的な地位の高い人（たとえば有名な実業家とか学者など）になると、そのような人の妻になると、どちらにでもなれるとすれば、どちらになりたいですか。

	総 数		地位の 高い人	地位の 高い人 の 妻	どちらに もなりた くない	分らない	不 明
	実 数	％					
都 市 団 地	1 1 6 1	100.0	1 6.5	2 5.4	3 7.8	2 0.2	0.1
農 村	1 2 7 6	100.0	1 3.9	2 3.1	4 4.7	1 8.3	—

都市団地、農村とも、地位の高い人になりたいというものは20％に満たない少数で、そのような人の妻になりたいものの方が10％程度多い。しかし、どちらにもなりたくないというものが両地域とも40％前後を占めて最も多い。

地位の高い人になりたいといった者は、都市団地、農村とも、年齢の若い層と学歴の高い層に比較的多い。職業別には差はみられない。

雇 主 と の 関 係

1. 夫 の 職 業

	総 数		雇 用					自 営 業				無 職
	実 数	%	計	管理職 専門技 術職、 事務職	労務職	販売 サー ビス	そ の 他	計	農 林 漁 業	商 工 サー ビス	自 由 業	
都市団地	1,161	100.0	88.5	65.5	6.9	13.3	2.8	11.2	0.1	8.6	2.5	0.3
農 村	1,276	100.0	53.6	27.8	18.5	5.3	2.0	45.4	23.7	19.4	2.3	1.0

団地では89%が雇用者、11%が自営業で、自営業は主として「商・工・サービス」である。農村でもやはり雇用者の比率が高く54%を占める。自営業は45%で、そのうち農林漁業は24%である。

2. ひけ目を感じるか

問 「無職」の人にきく

あなたはご自分に収入がないことで、ご主人に対してひけ目を感じることがありますか？

	無職の人 総 数		大いに 感じる	時々 感じる	ほとんど 感じない	全く感 じない	不 明
	実 数	%					
都 市 団 地	850	100.0	1.1	12.9	23.6	61.0	—
農 村	230	100.0	6.5	25.2	24.8	42.2	1.3

自分に収入がないことで夫にひけ目を感じるという人は、「大いに感じる」人、「時々感じる」人を合せても、都市団地では13%、農村では32%である。両地域とも「ほとんど感じていない」か「全く感じていない」ものが大多数であるが、「全く感じていない」ものは団地では過半数の61%、農村では42%である。

3. 共通の趣味、たのしみはあるか

問 あなたとご主人は共通の趣味や、たのしみをもっておられますか？

	総 数		もっている	もっていない	そ の 他	不 明
	実 数	%				
都 市 団 地	1,161	100.0	60.5	38.4	0.9	0.2
農 村	1,276	100.0	40.6	58.9	0.5	—

都市団地の61%、農村の41%が夫と共通の趣味やたのしみをもっている。両地域とも20～24才層に「もっている」ものが多い（都市団地75%、農村55%）。また農村では高学歴層ほど「もっている」ものが多い。

N 主婦の役割と地位

1. 家計管理者

問 お宅では家計をとりしきっておられるのはどなたですか？

	総 数		自 分	夫	夫の親	自分の親	その他	不 明
	実 数	%						
都 市 団 地	1,161	100.0	97.3	2.4	—	—	0.2	0.1
農 村	1,276	100.0	65.9	18.1	13.3	1.1	1.6	—

都市団地では家計の管理者はほとんどが妻自身であり、年齢層の間に差はない。

農村では自分で家計を管理するものは全体の3分の2に止まり、他は主に夫か夫の親が管理者となっている。年齢別にみると、「自分」は高年齢ほど多く（20～24才 55%、45～49才 71%）、「夫」も高年齢ほど多い。反対に「夫の親」は若い年齢層ほど多い（20～24才 29%、45～49才 1%）。

2. 子どものしつけや教育について考える人

問 「子供のある人」お宅では子どものしつけや教育について、どなたが中心になって考えますか。まず、しつけはどうですか？

	子供のある人総数		自分が中心	夫が中心	夫と自分の両方	その他の家族が中心	誰が中心ともいえない	わからない
	実 数	%						
都市団地	1,033	100.0	55.5	2.0	40.6	0.1	1.3	0.5
農 村	1,227	100.0	52.1	7.1	31.6	2.2	6.6	0.4

子どものしつけについて自分が中心になって考えるというものは、都市団地、農村とも5割余を占め、その他は大部分「自分と夫の両方」である。「夫が中心」というものは少ないが、農村の方がやや多く、「夫と自分の両方」は団地の方に多い。両地域とも年齢層による差はみられない。

問 では、進学のことなど教育についてはどうですか？

	子供のある人総数		自分が 中心	夫が 中心	夫と 自分の 両方	その他 の家族 が中心	誰が中 心とも いえない	わから ない	不明
	実数	%							
都市団地	1,033	100.0	13.6	7.8	63.4	1.2	3.1	10.6	0.3
農村	1,227	100.0	19.0	16.8	51.1	2.0	5.0	6.0	0.1

しつけと違って教育のこととなると「自分が中心」というものは少くない。「夫と自分の両方」が団地で63%、農村で51%を占める。農村には「夫が中心」というものが17%あるが、この答は高年齢ほど多い。しつけについても教育についても、「その他の家族が中心」というものは農村においても極めて少ない。

3. 貯金 の 名 義

問 お宅では、貯金の通帳はどなたの名前になっていますか？（子供さんやお年寄が自由にためておられるものを除いて家庭のものだけを答えて下さい。貯金は、郵便局、銀行、農協などにあずけたものをみんな含みます。いろいろな名前が使ってあればみんなおっしゃって下さい。）

	総数		夫の名義	妻の名義	夫と妻の 共同名義	その他の家 族の名義を かりている	貯金なし
	実数	%					
都市団地	1,161	100.0	91.0	51.7	5.4	24.5	0.5
農村	1,276	100.0	86.5	37.8	4.2	26.4	1.1

妻の名義の貯金をもつ者は、都市団地に52%、農村に38%。都市団地では高い年齢層ほど自分名義の貯金をもっている（20～24才 42%、45～49才 63%）。職業別では、両地域とも、雇用者である妻に自分名義の貯金をもつ者が比較的多い（団地62%、農村44%）。

4. 貯金の出し入れをする人

問 「貯金のある人のみ」 お宅では、そういう貯金の出し入れをするのは、おもにどなたですか？

	貯金のある人総数		自 分	夫	その他の 家 族	きまっ てい ない	不 明
	実 数	%					
都 市 団 地	1,155	100.0	81.9	9.7	—	8.3	0.1
農 村	1,262	100.0	54.9	25.2	7.8	11.6	0.5

貯金の出し入れをするのは、都市団地では82%が「自分」、10%が「夫」である。農村でも過半数の55%が「自分」であるが、「夫」というものも25%あり、これは高年齢層ほど多い（20～24才 11%、45～49才 35%）。また「その他の家族」がするというのは若い年齢層ほど多い（20～24才 20%、45～49才 1%）。

5. 結婚前からの財産は自由になるか

問 あなたが結婚前からもっておられた貯金や有価証券などはあなたの自由になりますか？

（すでに使ってしまったのでしたら使ってしまうまでは、あなたの自由になりましたか？）

〔自由にならないといった人に〕 それはなぜですか？

	総 数		自由に な る	自 由 に な ら な い					時 に よ る	結婚前 からの 貯金等 はない	不 明
	実 数	%		夫が管 理して いるか ら	その他 の家族 が管理 している から	家族全 体のも のだから	そ の 他	計			
都市団地	1,161	100.0	70.5 (90.7)	0.8 (1.1)	0.1 (0.1)	2.3 (3.0)	0.8 (1.0)	4.0 (5.2)	3.2 (4.1)	22.0	0.3
農 村	1,276	100.0	46.7 (90.3)	0.8 (1.5)	0.5 (0.9)	1.1 (2.1)	0.4 (0.9)	2.8 (5.5)	2.2 (4.2)	48.3	—

注：（ ）内は貯金のあるものの数を分母にした割合

都市団地、農村とも、結婚前からの貯金等のあるもの（全体のそれぞれ78%、53%）の9割はそれが自由になるとしており、自由にならないというものはどの年齢層でも少ない。

6. 家 の 名 義

問 あなたのおすまいはお宅の持家ですか、かりた家ですか？

〔“持家”の人に〕家はどなたのものになっていますか？（登記の名義は誰ですか？）

	持家の人数		夫の名義	妻の名義	夫と妻の 共同名義	その他の家 族の名義	その他	わからない	不明
	実数	%							
都市団地	129	100.0	90.7	—	6.2	3.1	—	—	—
農 村	1,126	100.0	62.4	1.9	0.6	24.8	1.9	1.3	0.1

都市団地では全体の11%が持家であるが、高年齢ほど持家の比率が高い。農村では全体の88%までが持家であり、年齢層間の差はほとんどない。

家の名義は、都市団地ではほとんどが夫の名義で、妻名義のものはなく、夫と妻の共同名義のものが僅かながらみられる（6%）。農村では夫かその他の家族の名義が大部分で、共同名義はほとんどない。妻名義のものが少数あるが、持主は40才以上に多い。

7. 離婚にさいしていくら請求するか

問 日本の法律では、夫婦の仲がうまくいかなくて離婚する場合、ふつう妻は夫に対して自分の協力した分として一定額の財産を分けてほしいと請求することができます。これを財産分与請求権といっています。

そこで、たとえばお宅で結婚後1,000万円の財産ができていたとして、もしかりに別れることになったとしたら、あなたは自分の協力の分としていくら分けてほしいと主張しますか？

	総数		300 万円 未 満	300～ 499 万円	500～ 799 万円	800～ 1,000 万円	平均 請求額 万円	分ら ない	請 求 しない	不 明
	実数	%								
都市団地	1,161	100.0	0.2	3.1	45.0	8.1	575	39.3	3.8	0.5
農 村	1,276	100.0	0.6	7.5	43.9	4.3	515	38.3	4.9	0.5

請求額としては、都市団地、農村とも、500万円から800万円の間を挙げたものが最も多く、平均金額は都市団地575万円、農村はやや低く515万円である。年齢別、職業別階層間に大差はみられないが、学歴別にみると都市団地では学歴の高いものほど請求額が多い。（大卒平均601万円）請求しないというものも若干あるが、その比率は各階層を通してほとんど変わらない。

V つきあい、社会関係

1. つきあっている相手

問 あなたがふだんよくつきあっておられる相手はどんな人たちですか？（あなたとどういう関係の方たちですか？）

	総 数		隣近所 の人た ち	子供の 友達 の親	地元の 婦人会 等の仲 間	職場の 人、仕 事仲間	趣味、 勉強、 宗教の 仲 間	学校友 だ ち	同居以 外の親 類	その他	特に ない
	実 数	%									
都市団地	1,161	100.0	68.1	49.0	7.0	17.2	20.3	30.7	29.0	3.7	4.3
農 村	1,276	100.0	76.6	25.6	24.1	30.8	9.1	20.7	35.0	2.4	2.4

よくつきあっている相手として比率が高いのは、都市団地では、隣近所の人たち（68%）、子供の友達の親（49%）、学校友だち（31%）、同居以外の親類（29%）の順である。農村では、隣近所の人たち（77%）、同居以外の親類（35%）、職場の人、仕事仲間（31%）などを挙げた者が多い。

「隣近所の人たち」は両地域とも第1位であるが、団地では「隣近所」を最も多く挙げたのは25～34才の層であるのに対し、農村では高年齢ほど「隣近所」を多く挙げている。

「子供の友達の親」は両地域とも30才代に多い。

「地元の婦人会等の仲間」は都市団地に少く農村に多いが、農村でも若い層には少なく、高年齢ほど多い（40才代 31%）。

「学校友だち」は団地ではどの年齢層でも30%前後ある。農村でも20才代は30%で団地と変わらないが、年齢が高まるにつれて減少する。

団地で「趣味、勉強、宗教の仲間」を挙げた者は高年齢ほど顕著に多い（20～24才 3%、45～49才 47%）。

「職場の人、仕事仲間」を挙げた者は有職率の高い農村の方に多い。

よくつきあっている相手が「とくにない」という者が若干あるが、両地域とも若い層に多く、とくに団地の20～24才層では13%が「とくにない」といっている。

2. 団体役員をしたことがあるか、頼まれれば引受けるか

問 あなたは町内会、自治会、婦人会など地域の団体の役員や、せわ役などをしたことがありますか？

将来もしたのまれれば、あなたは引受けますか？

	総 数		役員をしたことがある					役員をしたことがない				
	実 数	%	計	引受ける	場合による	引受けない	その他	計	引受ける	場合による	引受けない	その他
都市団地	1,161	100.0	31.1	11.0	12.5	6.8	0.8	68.9	11.4	30.2	26.0	1.3
農 村	1,276	100.0	50.0	18.9	17.7	11.5	1.9	50.0	13.5	17.9	17.6	1.0

都市団地ではほぼ3人に1人が、農村では半数が、地域の団体の役員などをした経験をもっている（現在しているものを含む）。20～24才では団地の18%、農村の11%が、45～49才になると団地の51%、農村の66%が経験をもっている。

将来もし頼まれれば「引受ける」という人の割合は団地22%、農村32%。これに「場合によって」は引受けるという人をあわせると、団地で65%、農村で68%が一応引受ける可能性のある人々である。頼まれても絶対「引受けない」という人が団地に33%、農村に29%ある。両地域とも「引受ける」人は20才代と30才代に多く、「引受けない」人は40才代に多い。

3. 県や市町村のニュースを読んでいるか

問 あなたは都道府県や市町村から配られてくる新聞やニュースを読んでいますか？

	総 数		いつも読む	ときどき読む	ほとんど読まない	その他	不 明
	実 数	%					
都 市 団 地	1,161	100.0	73.4	24.4	1.9	0.1	0.2
農 村	1,276	100.0	56.0	37.7	5.0	1.3	—

都市団地の73%、農村の56%が「いつも読む」といっている。「ほとんど読まない」というものは両地域とも僅かであるが、農村の方がやや多い。年齢層間の差はみられない。両地域とも、団体役員経験者は経験のない者より「いつも読む」者の率がやや高い。

4. 近所めいわくの処置

問 たとえば、あなたの近所の家でラジオの深夜放送を大きな音でかけるので、お宅やまわりの家が迷惑しておられるとします。こんなとき、あなたはどうかしますか？（もしこれにたい経験があれば、そのときどうなさったかをおっしゃって下さい。）

	総 数		その家の人と話しあう	とく名の 手紙を出す	名前を 明記して手紙を出す	第三者に たのんで かけあっ てもらう	何もし ないで がまん する	その他	不 明
	実 数	%							
都市団地	1,161	100.0	43.1	2.6	0.5	8.3	36.8	8.5	0.2
農 村	1,276	100.0	43.5	0.6	0.1	9.8	37.3	8.6	0.1

「その家の人と話しあう」が団地43%、農村44%、「何もしないでがまんする」がともに37%で、両地域とも揃ってこの二つの答に集中しており、比率もほとんど一致している。団地でも農村でも45～49才層は他の年齢層とは反対に「何もしないでがまんする」が「その家の人と話しあう」より多くなっている。

5. 子供のしつけ育て方についての知識をどこから学ぶか

問 あなたは出産や子どものしつけ方、育て方についての知識をどこから学びますか？

	総 数		親	その他の 家族・親類	近所 の人	職場 の人	グル ープの人	テレビ ラジオ	雑誌 や本	講演会 などの 催し	その他	不 明
	実 数	%										
都市団地	1,161	100.0	50.2	22.5	28.3	3.4	6.9	34.5	72.1	11.8	12.1	2.2
農村	1,276	100.0	57.4	21.5	23.0	7.9	7.8	26.0	54.2	19.4	8.9	0.5

都市団地では「雑誌や本」(72%)が最高で、「親」(50%)、「テレビ、ラジオ」(35%)、「近所の人」(28%)がそれに次いでいる。農村では「親」(57%)、「雑誌や本」(54%)、「テレビ、ラジオ」(26%)、「近所の人」(23%)の順である。「雑誌や本」は両地域とも若い層にとくに多い(20才代 団地76%、農村67%)。

6. 心配ごとを相談する相手

問 あなたは気にかかることや心配ごとを相談する相手をおもちですか？ それは誰ですか？

	総 数		夫	その他の 家族・親類	近所 の人	職場 の人	グル ープの人	その他	相談相 手なし	不 明
	実 数	%								
都市団地	1,161	100.0	85.4	40.7	12.1	3.1	5.8	8.4	2.1	0.1
農 村	1,276	100.0	83.3	44.4	11.4	6.7	3.9	5.7	1.8	—

団地でも農村でも、ほぼ85%の人が相談相手として「夫」をあげており、次いで「その他の家族・親類」をあげたものが約4割、「近所の人」が約1割ある。両地域のどの年齢層をとってもこの分布はおおむね変らない。2%という少数ではあるが相談相手はないというのが団地にも農村にもある。

V 配偶者選択、結婚へのプロセス

1. 夫と知りあった関係

問 ご結婚前のことをうかがいますが、あなたはご主人とどのような関係で知りあわれましたか？

	総 数		親類 関係	家族 親類の 知りあ い	友人 の知 りあ い	近所 どう し	職場 関係	学校 関係	サー クル 活動	市民 活動	娯楽 場・ レクリ エーション	そ の 他	不明
	実 数	%											
都市団地	1,161	100.0	4.6	24.0	18.5	4.3	33.3	4.7	2.9	—	1.9	5.7	0.1
農 村	1,276	100.0	12.8	36.4	11.4	5.7	10.6	1.9	0.8	0.3	1.2	18.8	0.1

団地では「職場関係」で夫と知りあったというものが3人に1人で最も多く、「家族・親類の知りあい」(24%)、「友人の知りあい」(19%)がこれに続く。農村では、「家族・親類の知りあい」(36%)が最高で、あとはずっと少なく「親類関係」(13%)、「友人の知りあい」(11%)、「職場関係」(11%)の順となっている。

上の割合と順序は年齢層によってかなりの相違がある。団地でも農村でも「職場関係」が若い層ほど顕著に多い(20～24才 団地52%、農村24%)。そのため農村の20才代では「職場関係」が「家族・親類の知りあい」に次ぐ比率となっており、団地の45～49才層では「家族・親類の知りあい」がもっとも多くなっている。

学歴別では、農村の「親類関係」は学歴が高くなるほど減っており、団地でも、該当する者の数は少ないが同様の傾向がみられる。

2. 結婚相手として紹介されたか

問 あなたがご主人とはじめて知りあわれたのは誰かに紹介されたのですか、それとも直接知りあわれたのですか？

〔紹介された人に〕 それは結婚相手として紹介されたのですか？

	総 数		紹 介 さ れ た		直接知り あ っ た
	実 数	%	結婚相手と して	そうでなく	
都 市 団 地	1,161	100.0	37.8	12.6	49.5
農 村	1,276	100.0	68.4	3.8	27.7

夫を他人から紹介されて知りあったものは、団地で50%と直接知りあったものと半々であるのに対し、農村では72%であり、そのうち夫を結婚相手として紹介されたというものは、団地で全体の38%であるのに対し農村は68%に及ぶが、両地域とも若い年齢になるほどその比率は目立って減っている。(団地では45～49才の45%から20～24才の15%へ、農村では同じく74%から51%へ)

3. 結婚はふたりできめたか

問 a あなたとご主人のご結婚は、おふたりできめられましたか、それとも親ごさんとか、近しい人にすすめられておきめになりましたか？

「ふたりできめたと答えた人」には「親ごさんなどは反対なさいませんでしたか？」ときく。

親（または近しい人）にすすめられてと答えた人には「あなたは満足でしたか？」ときく。

b) 「ふたりできめたと答えた人」では、おふたりのうち、どちらが熱心に結婚をのぞまれましたか。しいていえばどちらですか？

(a ふたりできめたか)

	総 数		ふたりできめた			親（または近しい人）に すすめられて				不 明
	実 数	%	計	親 は 反 対	親の反 対なし	計	自分は 満 足	自分は 大 体 満 足	自分は 不 満	
都市団地	1,161	100.0	77.6	19.1	58.5	22.4	10.3	11.1	1.0	—
農 村	1,276	100.0	33.4	12.1	21.3	66.5	21.1	38.1	7.3	0.1

結婚はふたりできめたといった者は、都市団地の78%に対し、農村は33%で少ないが、両地域とも年齢の若い層ほど「ふたりできめた」ものが多く、20～24才層では、団地の90%、農村の63%が「ふたりできめ」ている。

結婚相手として紹介された人と結婚した者のうちでは、団地で54%、農村で21%が結婚を「ふたりきりできめ」、その他の者（おもに相手と直接知りあった者）のうちでは、団地で92%、農村で59%が「ふたりできめ」ている。

親や周囲の反対を押しきって結婚したものは、20～24才層では団地、農村とも約3割あるが、25才以上の年齢層ではいずれもおおむね2割以下であり、ことに農村では高年齢ほどそのようなものの割合が少ない（45～49才 7%）。

親や周囲からすすめられて結婚したものの大部分は「満足」か「大体満足」だったといっているが、「不満」だったというものが農村には7%あり、これは高年齢ほど多い（40才代10%）。

(b) どちらが熱心に結婚をのぞんだか

	ふたりできめた人総数		自分 の方	夫の方	どちらとも いえない	わからない	不明
	実数	%					
都市団地	901	100.0	7.4	44.4	45.5	2.1	0.6
農村	426	100.0	6.3	46.5	44.6	1.9	0.7

ふたりできめた人のうち、熱心に結婚を望んだものは、都市団地でも農村でも、「自分の方」といったものは少く（7%、6%）、「夫の方」と「どちらともいえない」がほぼ45%ずつを占めている。年齢別にみると、両地域とも20～24才層では「夫の方」といったものが少く（団地31%、農村37%）、それだけ「自分」か「どちらともいえない」が多くなっている。

4. 婚約中の交際の程度

問 おふたりは婚約中どのくらいの交際をなさいましたか？

	総数		自由に 交際した	時々ま 会った ていど	交通だけ	ほとんど 交際しな かった	その他	不明
	実数	%						
都市団地	1,161	100.0	63.5	26.8	3.7	5.1	0.8	0.1
農 町	1,276	100.0	25.7	35.4	2.7	34.6	1.5	0.1

都市団地では自由に交際したものが64%を占め、ほとんど交際しなかったものは5%であるのに対し、農村では自由に交際したものは26%に止り、ほとんど交際しなかったものの方が多く35%に上る。

両地域とも「自由に交際」は若年層ほど多く、「ほとんど交際なし」は高年層ほど多い。団地の20～24才層では「自由に交際」85%、「ほとんど交際なし」2%、45～49才層では「自由に交際」41%、「ほとんど交際なし」13%となっている。農村では、20～24才層で「自由に交際」56%、「交際なし」4%、45～49才層で「自由に交際」7%、「交際なし」63%となっており、ことに農村において年令層間の格差が大きい。

5. 結婚後の生活設計について話しあったこと

問 【自由に交際した人に】 当時おふたりは結婚後の生活設計について、おもにどんなことについて話しあわれましたか？

	自由に交際した人総数		家計のこと	夫と妻の役割分担のこと	夫の職業のこと	自分の職業のこと	住居のこと	親のこと	子供の問題	余暇趣味	政治的関心	その他の問題	話しあわなかった	おぼえていない
	実数	%												
都市団地	737	100.0	38.7	12.2	25.6	32.4	45.9	27.4	24.0	23.5	4.9	3.7	10.7	10.6
農村	328	100.0	32.6	11.9	27.7	24.7	31.1	28.4	24.1	13.7	1.5	2.1	11.6	11.0

都市団地では「住居のこと」を話しあったものが最も多く（46%）、次いで「家計のこと」（39%）、「自分の職業のこと」（32%）、「親のこと」（27%）などが多く話し合われている。

農村では「家計のこと」（33%）、「住居のこと」（31%）、「親のこと」（28%）、「夫の職業のこと」（28%）の順となっている。

農村では若い層ほど話しあったことを多く挙げており、ことに「住居のこと」、「自分の職業のこと」、「親のこと」を話しあったものは若い年令層に目立って多い。

学歴別にみると、両地域とも、ほとんどの項目も学歴の高い層ほど話しあった者の比率が高い。

6. 妻の職業についての話し合い

問 a) 結婚後あなたが家事以外の仕事をもつかどうかについて、結婚前におふたりで話しあわれたことがありますか？

b) 「話しあった人に」話しあいの結果はどうきまりましたか？

お二人のうちおもにどちらの意見でそうきまりましたか？

(a 話しあったか)

	総 数		話しあった	話しあわない	覚えていない
	実 数	%			
都 市 団 地	1 1 6 1	100.0	5 8.5	3 7.7	3.8
農 村	1 2 7 6	100.0	3 5.7	5 9.3	5.0

対象者全体としては、都市団地では話しあったものの方が多く、農村では話しあわなかった者の方が多いが、両地域とも若年層ほど多くの者が話しあっており、ことに農村では年齢層間の格差が大きい。したがって農村でも20才代は話しあったものの方が多く、団地でも40才代は話しあわなかった者の方が多い。20～24才層での話しあった者の割合は都市団地72%、農村80%、45～49才層でのそれは団地36%、農村18%となっている。

また両地域とも、学歴が高くなるほど話しあった者の割合が多く、とくに農村ではその傾向が強い。

(b 話しあいの結果)

	話しあった人総数		ずっと仕事をもつことにした				当分仕事をもつことにした					家業に従事することにした				仕事は何もしないことにした				
	実数	%	計	主に自分の意見で	主に夫の意見で	ふたりの意見で	計	主に自分の意見で	主に夫の意見で	ふたりの意見で	不明	計	主に自分の意見で	主に夫の意見で	ふたりの意見で	計	主に自分の意見で	主に夫の意見で	ふたりの意見で	その他
都市団地	679	100	100	25	01	74	445	121	22	301	01	84	07	37	40	303	31	126	146	-
農村	455	100	286	77	24	185	222	74	18	130	-	343	31	73	239	107	07	59	39	02

注：その他の項目 「その他」と「とくに何もきめなかった」（合計4.2%）は省略

都市団地では「当分仕事をもつことにした」者が半数近くを占め、「ずっと仕事をもつことにした」と「家業に従事することにした」者がほぼ1割ずつ、あとの3割は「仕事は何もしないこと」にきめている。年齢層間に目立った差はない。

農村では、「家業に従事」が34%で最も多く、「ずっと仕事をもつことにした」者が29%で団地にくらべて多く「仕事は何もしないことにした」者は1割で少ない。年齢別には30代後半と40代で「家業」が「ずっと仕事をもつ」よりかなり多くなっている。

学歴別では、両地域とも大学卒に「ずっと仕事をもつことにした」者が多い(団地20%、農村39%)。

誰の意見でそうきまったかについては、「ずっと」にせよ「当分」にせよ「仕事をもつことにした場合は「ふたりの意見で」が多く、「夫の意見で」という者は少ない。しかし「家業に従事」する場合は「夫の意見で」きめた者が少なく、さらに「仕事をしないことにきめた」場合は「夫の意見で」がもっと多くなっている。この傾向は団地、農村に共通であり、またどの年齢層、学歴層でもほぼ同様である。

7. 妻と夫の年齢比較

	総 数		妻が上	夫が上	同 年
	実 数	%			
都 市 団 地	1,161	100.0	8.3	81.6	10.0
農 村	1,276	100.0	6.2	86.0	7.8

夫の方が年齢が上の夫婦が大部分であるが、農村の方に多少その比率が高い。同年令が団地に10%、農村に8%、妻が年上が団地に8%、農村に6%ある。夫より年上の妻は両地域とも40才代にやや多くみられる(団地13%、農村9%)。

8. 妻と夫の学歴差

	総 数		夫が上	妻が上	同学歴	不 明
	実 数	%				
都 市 団 地	1,161	100.0	37.9	4.2	57.9	—
農 村	1,276	100.0	17.9	10.6	71.4	0.1

団地の妻の58%、農村の71%が同学歴の夫をもつ。夫の学歴が上のものは団地の方に多く、妻が上のものは農村に多い。「妻が上」は団地では大卒の妻の場合が主であるが、農村では大卒のほかに高卒にも多く、中卒にも若干ある。両地域とも「同学歴」は年齢の若い層ほど多く、

「夫が上」は高年齢ほど多い傾向がみられる。

9. 妻の父の職業と夫の父の職業

問 あなたのご結婚当時、あなたの実家のお父さんは、どういう仕事をしておられましたか？

問 あなたのご主人のお父さんは、どういう仕事をしておられましたか？

		総 数		雇 用					自 営			自由 業	無 職	不 明
		実 数	%	計	管理、専門、技術、事務職	労務職	販売、サービス	その他	計	農林漁業	商工サービス			
都市 団地	妻の父	1,161	100.0	45.6	38.0	4.2	2.5	0.9	45.0	13.0	25.2	6.7	6.6	2.8
	夫の父	1,161	100.0	40.6	32.7	4.2	2.3	1.3	44.9	14.8	24.6	5.4	8.7	5.9
農村	妻の父	1,276	100.0	20.5	13.0	5.3	0.7	1.5	75.5	58.2	14.3	3.0	3.0	1.0
	夫の父	1,276	100.0	16.5	9.4	5.6	1.1	0.5	76.6	56.0	17.2	3.3	4.7	2.2

団地では妻の父の職業も夫の父の職業も、ともに雇用と自営がほぼ半々で、雇用の8割が「管理職、専門技術職、事務職」の範疇に属し、自営の6割が「商、工、サービス」に属する。

農村でも妻の父の職業と夫の父の職業は相似した分布を示しており、ともに雇用はほぼ2割で、約8割が自営、そのうちの7～8割が「農林漁業」である。

上の職業分類でみて妻の父と夫の父が同種の職業である夫婦の比率は、団地では32%で、「管理、専門技術、事務職」どうしが17%、「商、工、サービス」どうしが9%である。農村では妻と夫の父が同種の職業のもの比率は50%と高く、その大半は「農林漁業」どうし(40%)である。

10. 妻と夫の実家の経済的地位比較

問 財産とか収入の面では、あなたの実家とご主人の実家とでは、どちらが上でしたか？

	総 数		妻の実家 の方が上	夫の実家 の方が上	同じ位	わからない	不 明
	実 数	%					
都市団地	1,161	100.0	28.9	27.0	27.1	17.0	—
農村	1,276	100.0	27.6	31.3	28.8	12.1	0.2

両地域とも、「妻の実家の方が上」、「夫の実家の方が上」、「同じ位」に近い比率を示しており、この分布のかたちは各年齢層とも大体同じである。

11. 姓が変わることについて

問 あなたは結婚で姓(みょうじ)が変りましたか？

〔変った人に〕 あなたは姓が変わることをどうお感じになりましたか。うれしい気がしましたか、それともしれば変えたくない気がしましたか？

〔変えたくないかった人に〕 変えたくないかったのはなぜですか？

	姓の変った人 総 数		うれ しい 気が した	何と も思 わな かつた	できれば変えたくないかった						不明
	実 数	%			計	元の姓 が好き だから	不便 だから	抵抗 を感じる	何と なく	そ の 他	
都市団地	1,131	100.0	17.3	73.4	9.0	2.5	0.4	2.4	2.0	2.4	0.3
農 村	1,159	100.0	10.5	80.5	9.0	2.4	0.3	1.3	2.9	2.2	—

結婚で姓の変った人は、都市団地で97%、農村ではやや少く91%であった。

姓が変わることをどう思ったかについては、団地でも農村でも大半が「何とも思わなかった」といっており（団地73%、農村81%）、「できれば変えたくないかった」というものは両地域とも9%に過ぎない。変えたくないかった理由は「元の姓が好きだから」、「女だけを変えることに抵抗を感じる」、「何となく」がほぼ同率である。

年齢層による特徴はみられないが、学歴別では都市団地の大学卒に「変えたくないかった」ものがやや多く（16%）、その理由としては「抵抗を感じる」というものが多い。

Ⅶ 満 足 感

1 女に生れたいか、男に生れたいか

問 あなたはもしもう一度生れ変るとすれば、女に生まれたいですか、男に生まれたいですか？

それはなぜですか？

	総 数		女 に 生 れ た い						男 に 生 れ た い						ど ち ら も い え な い	
	実 数	%	計	職 業 の 苦 労 が な い	た の し み が 多 い	家 事 や 育 児 が 好 き	現 在 満 足	そ の 他	計	能 力 が 伸 ば せ る	た の し み が 多 い	好 き な こ と が で き る	い ば っ て い ら れ る	家 事 や 育 児 の 苦 労 が な い		そ の 他
都市 団地	1161	100.0	47.3 (100)	(21.3)	(11.8)	(17.1)	(47.9)	(7.7)	388 (100)	(65.4)	(6.2)	(22.4)	(2.0)	(8.6)	(6.4)	121
農 村	1276	100.0	42.1 (100)	(20.9)	(7.4)	(19.0)	(49.2)	(10.6)	453 (100)	(46.2)	(8.5)	(31.0)	(6.2)	(17.6)	(7.1)	139

2項目以上の理由を答えた人があるので理由の合計は100をこえる。

都市団地では「女に生れたい」人の方が「男に生れたい」人よりかなり多く（47%と39%）、農村では反対に「男に生れたい」人の方がやや多い（42%と45%）。

都市団地でも農村でも、「女に生れたい」ものと「男に生れたい」者の割合は、年齢層によって大きく変ることはないが、学歴別では両地域とも大学卒に「男に生れたい」人が多く、団地でも大学卒では「男に生れたい」人の方がむしろ多くなっている。職業別では両地域とも雇用者に「男に生れたい」人が多く、団地の雇用者は「男に生れたい」人の方が多い。また、農村では内職者と無職者は「女に生れたい」ものの方が多い。

「女に生れたい」ものの理由としては、「現在満足だから」が最も多く、「職業の苦労がないから」、「家事育児が好きだから」という理由が次に多い。両地域とも20～24才層に「現在満足だから」というものがとくに多い。

「男に生れたい」理由の中では、「男の方が能力が伸ばせるから」が両地域とも最も多く、とくに都市団地に多い（団地65%、農村46%）。そのほかに「男の方が好きなことができるから」が両地域に2割から3割ある。どの階層でもこの二つが主な理由である。

2. 現在の生活に満足か

問 a) あなたは一口でいって現在の生活に満足していますか？

b) どんな点に不満がありますか？

〔注：bは、満足なものには、不満は全くありませんか、あればどんな点ですか、ときく〕

(a 満足か)

	総 数		満 足	まず満足	時による	不満の 点あり	不 満	不 明
	実 数	%						
都市団地	1,161	1000	32.0	47.1	8.4	10.6	1.8	0.1
農 村	1,276	1000	38.0	41.4	8.9	9.1	2.5	0.1

現在の生活に「満足」なものは都市団地32%、農村38%で農村にやや多いが、「まず満足」のものを合わせると、団地、農村ともに79%となり、まず大多数が満足組である。したがって、不満だというのは両地域とも少数で、満足度の分布は団地と農村でほとんど変りがないといえる。各年齢階層、職業階層についてみても分布に目立った差はないが、世帯収入別にみると、満足なものは収入の高い層ほど多く、不満なものは収入の低い層ほど多い。とくにその格差は都市団地で著しい（「満足」なもの、70万円未満18%、300万円以上42%）。

(b 不満なこと)

都 市 団 地		農 村	
住居に関すること	8.4%	家計に関すること	8.0%
夫に関すること	8.2	夫に関すること	7.0
家計に関すること	5.6	家族（夫、子供以外）に関すること	5.2
自分自身に関すること	4.6	自分自身に関すること	4.4
子供に関すること	3.6	環境に関すること	3.2
環境に関すること	3.4	住居に関すること	2.6
		子供に関すること	2.4

（注） 数字は全対象者に対する比率

全員に改めて不満なことをきいた結果は、とりたてて挙げるような不満は全くないといったものが、団地に47%、農村に46%あった。

不満の内容はさまざまであるが、まとめられるものをまとめてあげてみた。団地では住居と夫に関する不満が最も多く、農村では家計と夫に関するものがもっとも多い。

統計表

目次

第 1 表	同居の親（妻の年令別）	3 5
第 2 表	妻の学歴（年令別）	3 6
第 3 表	夫の学歴（妻の学歴別）	3 7
第 4 表	妻の職業（年令別、学歴別、子供の有無別）	3 8
第 5 表	結婚前の職業（年令別、夫の職業別）	4 0
第 6 表	つきあっている相手（年令別）	4 2
第 7 表	子供のしつけ方、育て方についての知識をどこから学ぶか（年令別）	4 4
第 8 表	夫と知りあった関係（年令別、学歴別）	4 6
第 9 表	結婚相手として紹介されたか（年令別、学歴別）	4 8
第 10 表	結婚はふたりできめたか（年令別、学歴別、知りあったきっかけ別）	5 0
第 11 表	婚約中の交際の程度（年令別、知りあったきっかけ別）	5 1
第 12 表	結婚後の生活設計について話しあったこと（年令別、学歴別）	5 2
第 13 表	仕事をもつかどうかについて話しあったか（年令別、学歴別）	5 4
第 14 表	夫と妻の学歴比較（妻の年令別）	5 5
第 15 表	妻の父の職業（夫の父の職業別）	5 6
第 16 表	男に生れたいか、女に生れたいか（年令別、学歴別、職業別）	5 8

第1表 同居の親（妻の年齢別）

（都市団地）

（％）

	総 数	妻の父	妻の母	夫の父	夫の母	同居の 親なし
計	(1,161)100.0	—	1.0	0.7	2.6	95.7
20～24才	(61)100.0	1.6	1.6	3.3	—	95.1
25～29	(297)100.0	—	0.7	0.3	2.0	97.3
30～34	(371)100.0	—	0.8	0.5	2.9	95.9
35～39	(235)100.0	—	1.3	0.9	2.1	95.7
40～44	(126)100.0	—	0.8	0.8	5.5	93.6
45～49	(71)100.0	—	2.8	1.4	2.8	93.0

（農 村）

（％）

	総 数	妻の父	妻の母	夫の父	夫の母	同居の 親なし	不 明
計	(1,276)100.0	2.8	4.2	24.7	37.8	50.7	0.3
20～24才	(55)100.0	12.7	1.8	29.1	56.4	36.4	—
25～29	(164)100.0	4.9	4.9	29.3	37.8	51.8	0.6
30～34	(221)100.0	2.7	5.0	33.0	46.6	41.2	—
35～39	(258)100.0	0.8	3.5	28.3	41.5	46.5	0.8
40～44	(292)100.0	3.1	4.5	22.9	37.0	50.3	—
45～49	(286)100.0	1.4	4.2	13.3	24.8	64.3	0.3

（注）（ ）内は対象者の実数である。以下同じ

第2表 妻の学歴（年令別）
（都市団地）

(%)

	総数	小学校以下	高小・新中	旧中・新高	旧専・大学
計	(1,161)100.0	0.2	13.6	66.2	20.0
20~24才	(61)100.0	—	4.9	78.7	16.4
25~29	(297)100.0	—	10.7	65.3	24.0
30~34	(371)100.0	—	13.2	69.5	17.3
35~39	(235)100.0	0.4	18.3	62.6	18.7
40~44	(126)100.0	0.8	15.1	66.7	17.4
45~49	(71)100.0	—	16.9	53.5	29.6

（農村）

(%)

	総数	小学校以上	高小・新中	旧中・新高	旧専・大学
計	(1,276)100.0	5.5	51.9	38.1	4.5
20~24才	(55)100.0	—	34.5	56.4	9.1
25~29	(164)100.0	—	42.7	51.2	6.1
30~34	(221)100.0	1.8	53.4	38.5	6.3
35~39	(258)100.0	1.9	52.8	39.9	5.4
40~44	(292)100.0	6.2	57.5	34.9	1.4
45~49	(286)100.0	15.0	53.2	28.5	3.5

第3表 夫の学歴（妻の学歴別）

(%)

	夫の学歴 妻の学歴	総 数	小学校以下	高小・新中	旧中・新高	旧専・大学	不 明
都 市 団 地	計	(1,161)1000	0.1	8.7	41.4	49.8	—
	小学校以下	(2)1000	50.0	50.0	—	—	—
	高小・新中	(158)1000	—	46.2	42.4	11.4	—
	旧中・新高	(769)1000	—	3.4	50.7	45.9	—
	旧専・大学	(232)1000	—	0.4	10.3	89.3	—
農 村	計	(1,276)1000	5.6	51.8	33.1	9.4	0.1
	小学校以下	(70)1000	41.4	51.4	7.2	—	—
	高小・新中	(663)1000	6.5	76.5	15.5	1.5	—
	旧中・新高	(486)1000	—	24.1	62.1	13.6	0.2
	旧専・大学	(57)1000	—	1.7	21.1	77.2	—

第4表 妻の職業（年齢別・学歴別・子供有無別）

（都市団地）

		総数	雇 用		
			計	普通の勤務	パートタイム
計		(1161) 100.0	14.0	7.0	7.0
年 令 別	20～24才	(61) 100.0	14.8	8.2	6.6
	25～29	(297) 100.0	10.1	5.4	3.7
	30～34	(371) 100.0	10.8	4.6	6.2
	35～39	(235) 100.0	14.9	7.2	7.7
	40～44	(126) 100.0	26.2	12.7	13.5
	45～49	(71) 100.0	21.1	9.8	11.1
学 歴 別	小学校以下	(2) 100.0	—	—	—
	高小・新中	(158) 100.0	13.9	4.4	9.5
	旧中・新高	(769) 100.0	13.4	5.7	7.7
	旧専・大学	(232) 100.0	16.0	13.0	3.0
子 供 有 無 別	あ り	(1033) 100.0	10.7	4.8	5.9
	な し	(128) 100.0	39.8	24.2	15.6

（農 村）

		総数	雇 用			
			計	普通の勤務	パート タイム	不 明
計		(1276) 100.0	29.6	23.3	6.2	0.1
年 令 別	20～24才	(55) 100.0	21.8	21.8	—	—
	25～29	(164) 100.0	26.8	23.2	3.6	—
	30～34	(221) 100.0	30.3	24.4	5.9	—
	35～39	(258) 100.0	38.8	27.5	11.3	—
	40～44	(292) 100.0	29.1	23.0	5.8	0.3
	45～49	(286) 100.0	24.5	19.2	4.9	0.4
学 歴 別	小学校以下	(70) 100.0	42.8	31.4	11.4	—
	高小・新中	(663) 100.0	28.2	22.0	6.2	—
	旧高・新高	(486) 100.0	27.8	21.4	6.0	0.4
	旧専・大学	(57) 100.0	45.6	43.8	1.8	—
子 供 有 無 別	あ り	(1227) 100.0	28.9	22.3	6.4	0.2
	な し	(49) 100.0	47.0	47.0	—	—

(%)

自 営 業				内 職	無 職
計	農 林 ・ 漁 業	商 工 サービス	自 由 業		
3.0		2.1	0.9	9.8	73.2
4.9		1.6	3.3	4.9	75.4
1.7		1.0	0.7	7.1	81.1
2.7		2.2	0.5	9.7	76.8
3.4		3.0	0.4	16.6	65.1
5.6		3.2	2.4	9.5	58.7
2.8		1.4	1.4	4.2	71.9
—		—	—	—	100.0
3.2		3.2	—	13.9	69.0
2.9		2.4	0.5	9.9	73.8
3.4		0.4	3.0	6.9	73.7
2.8		2.0	0.8	10.2	76.3
4.8		2.4	2.4	7.0	48.4

(%)

自 営 業					内 職	無 職
計	農 林 ・ 漁 業	商 工 サービス	自 由 業	不 明		
41.3	24.6	16.0	0.6	0.1	11.1	18.0
34.6	20.0	14.6	—	—	12.7	30.9
25.0	10.4	13.4	1.2	—	11.0	37.2
33.9	18.1	15.8	—	—	16.8	19.0
38.7	18.2	19.7	0.4	0.4	10.1	12.4
45.5	29.5	15.7	0.3	—	12.7	12.7
55.3	39.2	14.7	1.4	—	5.9	14.3
38.6	30.0	8.6	—	—	4.3	14.3
44.4	29.1	14.8	0.5	—	13.7	13.7
39.5	19.4	19.3	0.8	—	9.5	23.2
22.8	8.8	10.5	1.7	1.8	3.5	28.1
41.7	24.7	16.2	0.7	0.1	11.3	18.1
30.6	20.4	10.2	—	—	6.1	16.3

第5表 結婚前の職業（年令別、夫の職業別）
（都市団地）

			総 数	雇 用			
				計	普通の勤務	パートタイム	不 明
計			(1,161)100.0	82.4	81.2	1.1	0.1
年 令 別	20～24才		(61)100.0	90.2	90.2	—	—
	25～29		(297)100.0	85.5	84.5	1.0	—
	30～34		(371)100.0	86.0	84.7	1.3	—
	35～39		(235)100.0	83.0	80.9	1.7	0.4
	40～44		(126)100.0	69.0	68.2	0.8	—
	45～49		(71)100.0	66.2	66.2	—	—
夫の現在の職業別	雇 用	小 計	(1,028)100.0	84.5	83.2	1.2	0.1
		管 理	(761)100.0	83.8	82.4	1.3	0.1
		労 務	(80)100.0	87.5	87.5	—	—
		販 売	(154)100.0	85.7	84.4	1.3	—
		その他	(33)100.0	87.9	87.9	—	—
	自 営	小 計	(130)100.0	65.4	64.6	0.8	—
		農 林	(1)100.0	—	—	—	—
		商 工	(100)100.0	67.0	67.0	—	—
		自 由	(29)100.0	62.1	58.6	3.5	—
	無 職		(3)100.0	100.0	100.0	—	—

（ 農 村 ）

			総 数	雇 用		
				計	普通の勤務	パートタイム
計			(1,276)100.0	52.1	51.4	0.7
年 令 別	20～24才		(55)100.0	74.5	74.5	—
	25～29		(164)100.0	84.2	83.6	0.6
	30～34		(221)100.0	65.6	65.6	—
	35～39		(258)100.0	41.5	40.7	0.8
	40～44		(292)100.0	35.6	34.6	1.0
	45～49		(286)100.0	45.5	44.4	1.1
夫の現在の職業別	雇 用	小 計	(684)100.0	64.0	63.0	1.0
		管 理	(355)100.0	68.5	67.6	0.9
		労 務	(236)100.0	58.1	56.4	1.7
		販 売	(68)100.0	66.2	66.2	—
		その他	(25)100.0	52.0	52.0	—
	自 営	小 計	(579)100.0	38.2	37.8	0.4
		農 林	(302)100.0	18.5	18.2	0.3
		商 工	(248)100.0	60.9	60.5	0.4
		自 由	(29)100.0	48.3	48.3	—
	無 職		(13)100.0	46.1	46.1	—

(%)

計	自 営 業				内 職	無 職
	農林・漁業	商工サービス	自由業	不 明		
4.5	0.4	2.9	1.1	0.1	0.7	12.4
3.3	—	3.3	—	—	—	6.5
2.4	—	1.3	0.7	0.4	1.0	11.1
6.7	0.8	3.8	2.1	—	—	7.3
3.8	0.4	2.5	0.9	—	0.4	12.8
5.6	0.8	4.8	—	—	1.6	23.8
2.8	—	1.4	1.4	—	2.8	28.2
3.6	0.4	2.1	1.0	0.1	0.7	11.2
3.7	0.1	2.3	1.2	0.1	0.8	11.7
5.0	3.8	—	1.2	—	—	7.5
3.2	—	3.2	—	—	0.7	10.4
—	—	—	—	—	—	12.1
11.5	0.8	8.4	2.3	—	0.8	22.3
—	—	—	—	—	—	100.0
11.0	1.0	9.0	1.0	—	1.0	21.0
13.8	—	6.9	6.9	—	—	24.1
—	—	—	—	—	—	—

(%)

1707

自 営 業				内 職	無 職
計	農林・漁業	商工サービス	自 由 業		
21.2	17.9	2.4	0.9	2.3	24.4
10.9	10.9	—	—	—	14.6
6.1	1.8	3.1	1.2	2.4	7.3
14.0	10.9	2.7	0.4	1.8	18.6
24.0	18.2	4.3	1.5	1.6	32.9
30.8	28.1	2.0	0.7	3.1	30.5
24.8	23.1	0.7	1.0	2.8	26.9
14.6	11.9	2.3	0.4	2.7	18.7
11.3	8.2	2.8	0.3	2.5	17.7
17.8	16.5	0.9	0.4	2.9	21.2
17.6	11.7	5.9	—	1.5	14.7
24.0	20.0	—	4.0	4.0	20.0
28.5	24.5	2.4	1.6	1.9	31.4
41.1	39.4	0.7	1.0	1.7	38.7
13.7	7.7	4.4	1.6	2.4	23.0
24.1	13.8	3.4	6.9	—	27.6
38.5	38.5	—	—	—	15.4

第6表 つきあっている相手（年令別）

		総 数	隣 近 所 の 人 た ち	子 供 の 友 だ ち の 親	地元の婦人 会等の仲間
都 市 閉 地	計	(1,161)100.0	68.1	49.0	7.0
	20～24才	(61)100.0	55.7	9.8	—
	25～29	(297)100.0	75.1	39.1	1.7
	30～34	(371)100.0	75.2	57.7	7.8
	35～39	(235)100.0	62.6	60.9	12.8
	40～44	(126)100.0	52.1	50.0	9.5
	45～49	(71)100.0	50.7	38.0	7.0
農 村	計	(1,276)100.0	76.6	25.6	24.1
	20～24才	(55)100.0	54.5	10.9	10.9
	25～29	(164)100.0	61.6	20.7	7.3
	30～34	(221)100.0	70.6	38.9	18.6
	35～39	(258)100.0	79.8	32.2	26.0
	40～44	(292)100.0	80.8	25.7	33.2
	45～49	(286)100.0	87.1	15.0	29.7

(注) 多答のため各項の計は100%をとえる。

(%)

職 場 の 人 仕 事 仲 間	趣味、勉強、 宗教の仲間	学 校 友 だ ち	同 居 以 外 の 親 類	そ の 他	特 に な い
17.2	20.3	30.7	29.0	3.7	4.3
23.0	3.3	29.5	29.5	6.6	13.1
14.5	7.7	30.0	27.3	4.4	5.7
16.7	17.0	32.9	28.3	3.8	2.4
17.4	27.7	30.6	27.7	1.7	3.0
19.8	39.7	27.8	32.5	4.0	5.6
21.1	46.5	28.2	38.0	4.2	2.8
30.8	9.1	20.7	35.0	2.4	2.4
30.9	—	38.2	32.7	10.9	5.5
29.9	4.9	27.4	35.4	3.0	4.9
37.6	7.7	17.6	35.7	2.7	2.7
34.9	10.1	21.3	34.5	1.2	1.6
26.7	8.2	19.5	38.7	1.4	2.1
26.6	14.3	16.4	31.1	2.1	1.4

第7表 子供のしつけ方、育て方についての知識をどこから学ぶか（年令別）

年 令 別		総 数	親	そ の 他 の 家 族 ・ 親 類	近 所 の 人
都 市 団 地	計	(1,161)100.0	50.2	22.5	28.3
	20～24才	(61)100.0	45.9	13.1	18.0
	25～29	(297)100.0	58.9	23.6	29.6
	30～34	(371)100.0	49.6	22.9	33.4
	35～39	(235)100.0	45.1	18.7	28.5
	40～44	(126)100.0	44.4	32.5	24.6
	45～49	(71)100.0	47.9	18.3	9.9
農 村	計	(1,276)100.0	57.4	21.5	23.0
	20～24才	(55)100.0	60.0	21.8	14.5
	25～29	(164)100.0	59.1	19.5	23.8
	30～34	(221)100.0	51.6	18.6	23.1
	35～39	(258)100.0	52.7	21.7	24.4
	40～44	(292)100.0	61.6	22.3	21.2
	45～49	(266)100.0	60.1	23.8	24.5

（注）多答のため各項の計は100%をこえる。

(%)

職場の人	グループの人	テレビ、 ラジオ	雑誌や本	講演会な どの催し	その他	不明
3.4	6.9	34.5	72.1	11.8	12.1	2.2
3.3	1.6	27.9	75.4	18.0	14.8	3.3
3.7	4.0	31.3	76.1	5.7	12.1	1.3
3.8	6.7	37.2	75.7	12.4	10.2	1.3
2.6	11.1	36.6	66.0	14.0	14.5	2.1
2.4	7.9	36.5	66.7	18.3	11.1	4.0
4.2	8.5	29.6	63.4	9.9	12.7	7.0
7.9	7.8	26.0	54.2	19.4	8.9	0.5
7.3	3.6	29.1	65.5	16.4	16.4	—
15.2	4.9	28.0	67.1	15.2	9.1	—
11.8	6.3	31.2	65.2	17.6	10.0	0.5
7.8	7.8	27.5	54.3	24.8	9.3	1.2
4.1	9.9	23.6	47.6	21.9	7.5	0.3
4.9	9.4	21.3	42.7	16.4	7.3	0.3

第8表 夫と知り合った関係 (年令別、学歴別)
(都 市 団 地)

		総 数	親 類 関 係	家族、親類 の知りあい	友人の知り あ い	近所どうし
計		(1,161) 100.0	4.6	24.0	18.5	4.3
年 令 別	20～24才	(61) 100.0	—	8.2	19.7	4.9
	25～29	(297) 100.0	3.0	23.6	15.5	3.4
	30～34	(371) 100.0	5.7	22.9	16.4	4.6
	35～39	(235) 100.0	5.5	28.9	19.6	3.4
	40～44	(126) 100.0	4.0	21.4	27.0	8.7
	45～49	(71) 100.0	7.1	32.4	22.5	1.4
学 歴 別	小 学 以 下	(2) 100.0	—	50.0	50.0	—
	高小・新中	(158) 100.0	10.1	17.7	19.6	8.9
	旧中・新高	(769) 100.0	3.9	23.5	18.7	3.9
	高专・大学	(232) 100.0	3.0	29.3	16.8	2.6

(農 村)

		総 数	親 類 関 係	家族、親類 の知りあい	友人の知り あ い	近所どうし
計		(1,276) 100.0	12.8	36.4	11.4	5.7
年 令 別	20～24才	(55) 100.0	9.1	29.1	10.9	1.8
	25～29	(164) 100.0	2.4	35.4	12.2	6.1
	30～34	(221) 100.0	7.7	29.4	15.4	5.4
	35～39	(258) 100.0	13.2	32.9	13.2	6.2
	40～44	(292) 100.0	15.1	43.5	9.6	6.2
	45～49	(286) 100.0	21.0	39.5	8.1	5.6
学 歴 別	小 学 以 下	(70) 100.0	20.0	40.0	10.0	7.1
	高小・新中	(663) 100.0	13.7	35.3	11.8	7.4
	旧中・新高	(486) 100.0	11.5	37.3	10.9	3.9
	高专・大学	(57) 100.0	5.3	36.8	12.3	—

(%)

職場関係	学校関係	サークル, クラブ活動	市民活動	娯楽場、レク リエーション	その他	不明
33.3	4.7	2.9	—	1.9	5.7	0.1
52.4	8.2	3.3	—	—	3.3	—
37.4	6.1	2.7	—	2.3	5.7	0.3
34.0	5.4	3.2	—	1.1	6.7	—
31.1	2.5	3.0	—	3.0	3.0	—
19.0	4.0	3.2	—	3.2	9.5	—
29.6	1.4	1.4	—	—	4.2	—
—	—	—	—	—	—	—
30.4	1.3	—	—	5.7	6.3	—
37.9	3.1	3.0	—	1.2	4.8	—
20.7	12.5	4.8	—	1.7	8.2	0.4

(%)

職場関係	学校関係	サークル, クラブ活動	市民活動	娯楽場、レク リエーション	その他	不明
10.6	1.9	0.8	0.3	1.2	18.8	0.1
23.7	7.3	3.6	1.8	—	12.7	—
20.7	3.7	0.6	—	3.0	15.9	—
14.9	0.4	0.9	—	2.3	23.1	0.5
8.9	3.1	0.8	0.8	0.4	20.5	—
7.2	1.0	0.7	0.3	0.7	15.7	—
4.2	0.7	0.3	—	0.7	19.9	—
4.3	—	—	—	1.4	17.2	—
8.4	1.9	0.6	0.2	1.5	20.0	0.2
13.6	2.9	1.0	0.6	0.6	17.7	—
19.3	7.0	1.7	—	1.8	15.8	—

第9表 結婚相手として紹介されたか（年齢別、学歴別）

(%)

			総 数	紹 介 さ れ た			直接知り あ っ た	不 明
				計	結婚相手 として	そうでは な い		
都 市 国 地	計		(1161)1000	50.4	37.8	12.6	49.5	0.1
	年 令 別	20～24才	(61)1000	29.5	14.7	14.8	70.5	—
		25～29	(297)1000	46.5	33.7	12.8	53.2	0.3
		30～34	(371)1000	47.7	37.2	10.5	52.3	—
		35～39	(235)1000	56.2	43.4	12.8	43.8	—
		40～44	(126)1000	61.9	46.0	15.9	38.1	—
		45～49	(71)1000	60.6	45.1	15.5	39.4	—
	学 歴 別	小学校以下	(2)1000	50.0	—	50.0	50.0	—
		高小・新中	(158)1000	54.4	39.9	14.5	45.6	—
		旧中・新高	(769)1000	47.5	35.5	12.0	52.5	—
		高専・大学	(232)1000	57.8	44.4	13.4	41.8	0.4

(%)

			総 数	紹 介 さ れ た			直 接 知 り あ っ た	不 明
				計	結 婚 相 手 と し て	そ う で は な い		
農 村	計		(1,276) 100.0	72.2	68.4	3.8	27.7	0.1
	年 令 別	20~24才	(55) 100.0	56.4	50.9	5.5	43.6	—
		25~29	(164) 100.0	64.0	56.7	7.3	36.0	—
		30~34	(221) 100.0	71.0	67.4	3.6	28.5	0.5
		35~39	(258) 100.0	73.3	69.0	4.3	26.7	—
		40~44	(292) 100.0	77.4	74.3	3.1	22.6	—
		45~49	(286) 100.0	74.8	72.7	2.1	25.2	—
	学 歴 別	小学校以下	(70) 100.0	67.1	62.8	4.3	32.9	—
		高小・新中	(663) 100.0	74.2	70.7	3.5	25.6	0.2
		旧中・新高	(486) 100.0	70.0	65.5	4.5	30.0	—
		高专・大学	(57) 100.0	75.4	73.7	1.7	24.6	—

第10表 結婚はふたりでできたか（年齢別、学歴別、知りあったきっかけ別）

(%)

			総 数	ふたりでできた			親にすすめられて				不 明
				計	親は 反対	親の反 対なし	計	自分は 満 足	自分は 大体満足	自分は 不 満	
都 市 団 地	計		(1161)100.0	77.6	19.1	58.5	22.4	10.3	11.1	1.0	—
	年 令 別	20～24才	(61)100.0	90.2	29.5	60.7	9.8	4.9	4.9	—	—
		25～29	(297)100.0	83.8	18.8	65.0	16.2	7.4	8.1	0.7	—
		30～34	(371)100.0	82.5	17.8	64.7	17.5	8.1	7.8	1.6	—
		35～39	(235)100.0	69.8	19.2	50.6	30.2	14.9	14.0	1.3	—
		40～44	(126)100.0	61.9	23.0	38.9	38.1	14.3	23.0	0.8	—
		45～49	(71)100.0	69.0	11.3	57.7	31.0	15.5	15.5	—	—
	学 歴 別	小学校以下	(2)100.0	50.0	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—
		高小・新中	(158)100.0	69.0	22.8	46.2	31.0	15.8	14.6	0.6	—
		旧中・新高	(769)100.0	79.5	18.5	61.0	20.5	9.7	9.6	1.2	—
		高専・大学	(232)100.0	77.6	19.0	58.6	22.4	7.7	13.8	0.9	—
	知 き り あ っ た け だ 別	結婚相手として紹介された	(439)100.0	54.0	5.0	49.0	46.0	20.7	23.2	2.1	—
		そ の 他	(722)100.0	92.0	27.7	64.3	8.0	3.9	3.7	0.4	—
農 村	計		(1276)100.0	33.4	12.1	21.3	66.5	21.1	38.1	7.3	0.1
	年 令 別	20～24才	(55)100.0	63.6	27.3	36.3	36.4	18.2	16.4	1.8	—
		25～29	(164)100.0	56.1	20.7	35.4	43.9	15.3	25.6	3.0	—
		30～34	(221)100.0	43.0	16.7	26.3	57.0	18.1	34.4	4.5	—
		35～39	(258)100.0	32.9	11.2	21.7	66.7	21.3	38.4	7.0	0.4
		40～44	(292)100.0	20.5	6.1	14.4	79.5	24.0	44.2	11.3	—
		45～49	(286)100.0	20.6	7.3	13.3	79.0	24.1	45.8	9.1	0.4
	学 歴 別	小学校以下	(70)100.0	21.4	2.8	18.6	78.6	27.1	37.2	14.3	—
		高小・新中	(663)100.0	27.9	11.8	16.1	71.9	22.5	40.4	9.0	0.2
		旧中・新高	(486)100.0	41.7	13.8	28.0	58.0	18.1	35.8	4.1	0.2
		高専・大学	(57)100.0	40.4	12.3	28.1	59.6	22.8	31.6	5.2	—
	知 き り あ っ た け だ 別	結婚相手として紹介された	(873)100.0	21.5	6.4	15.1	78.4	24.1	46.1	8.2	0.1
		そ の 他	(403)100.0	59.1	24.3	34.8	40.7	14.6	20.9	5.2	0.2

第11表 婚約中の交際の程度（年令別、知りあったきっかけ別）

（%）

			総 数	自由に 交際し ていた	時たま 会った	交通だけ	ほとん ど交際 なし	その他	不 明
都 市 団 地	計		(1161)100.0	63.5	26.8	3.7	5.1	0.8	0.1
	年 令 別	20～24才	(61)100.0	85.3	13.1	—	1.6	—	—
		25～29	(297)100.0	67.0	26.2	2.7	3.4	0.7	—
		30～34	(371)100.0	67.6	24.8	3.8	3.5	0.3	—
		35～39	(235)100.0	61.3	25.1	6.0	5.9	1.7	—
		40～44	(126)100.0	49.2	35.7	3.2	10.3	0.8	0.8
		45～49	(71)100.0	40.8	40.9	4.2	12.7	1.4	—
	知 き り あ か つ た 別	結婚相手として紹介された	(439)100.0	39.9	41.7	6.6	10.2	1.4	0.2
		そ の 他	(722)100.0	77.9	17.7	1.9	2.1	0.4	—
農 村	計		(1276)100.0	25.7	35.4	2.7	34.6	1.5	0.1
	年 令 別	20～24才	(55)100.0	56.4	34.6	3.6	3.6	1.8	—
		25～29	(164)100.0	53.1	40.2	0.6	5.5	0.6	—
		30～34	(221)100.0	37.1	39.8	2.3	19.4	1.4	—
		35～39	(258)100.0	24.0	42.3	2.3	30.2	1.2	—
		40～44	(292)100.0	15.4	34.6	2.7	44.9	2.4	—
		45～49	(286)100.0	7.4	23.8	4.5	62.6	1.4	0.3
	知 き り あ か つ た 別	結婚相手として紹介された	(873)100.0	13.5	39.3	2.7	43.2	1.3	—
		そ の 他	(403)100.0	52.1	26.8	2.7	16.1	2.0	0.3

第12表 結婚後の生活設計について話しあったこと（年齢別、学歴別）

			自由に交際した人 総 数	家計のこと	夫と妻の役 割の分担の こと	夫の職業 の こと	自分の職 業のこと
都 市 団 地	計		(737) 100.0	38.7	12.2	25.6	32.4
	年 令 別	20～24才	(52) 100.0	30.8	13.5	25.0	32.7
		25～29	(199) 100.0	43.7	12.1	19.6	33.2
		30～34	(251) 100.0	40.6	14.3	29.5	34.3
		35～39	(144) 100.0	33.3	9.0	29.2	31.3
		40～44	(62) 100.0	33.9	11.3	22.6	27.4
		45～49	(29) 100.0	37.9	10.3	24.1	27.6
	学 歴 別	小学校以下	(1) 100.0	—	—	—	—
		高小・新中	(99) 100.0	28.3	7.1	21.2	23.2
		旧中・新高	(525) 100.0	37.9	10.5	21.9	29.3
		高専・大学	(162) 100.0	35.8	17.3	32.7	38.3
農 村	計		(328) 100.0	32.6	11.9	27.7	24.7
	年 令 別	20～24才	(31) 100.0	32.3	—	41.9	41.9
		25～29	(87) 100.0	29.9	10.3	29.9	29.9
		30～34	(82) 100.0	34.1	17.1	24.4	23.2
		35～39	(62) 100.0	32.3	12.9	29.0	24.2
		40～44	(45) 100.0	33.3	11.1	26.7	11.1
		45～49	(21) 100.0	38.1	14.3	9.5	14.3
	学 歴 別	小学校以下	(5) 100.0	—	—	40.0	—
		高小・新中	(133) 100.0	30.1	9.8	24.8	20.3
		旧中・新高	(170) 100.0	34.1	13.5	30.0	26.5
		高専・大学	(20) 100.0	45.0	15.0	25.0	45.0

（注）多答のため各項の計は100%をこえる。

(%)

住居のこと	親のこと	子供の 問題	余暇 趣味	政治的 問題	その他の 問題	話しあわ なかった	おぼえて いない
45.9	27.4	24.0	23.5	4.9	3.7	10.7	10.6
44.2	34.6	34.6	30.8	7.7	7.7	3.8	3.8
44.7	33.2	25.1	24.6	5.5	3.5	11.6	8.5
49.8	23.9	25.5	25.9	4.4	3.2	7.2	8.0
45.1	20.8	18.1	18.8	4.9	1.4	14.6	15.3
37.1	29.0	22.6	17.7	3.2	6.5	17.7	21.0
44.8	34.5	17.2	17.2	3.4	6.9	13.8	13.8
—	—	—	—	—	—	100.0	—
41.4	19.2	16.2	9.1	3.0	3.0	11.1	11.1
41.5	25.7	23.6	22.1	2.7	3.0	10.9	9.9
48.8	29.6	22.8	29.6	11.7	4.9	6.2	9.3
31.1	28.4	24.1	13.7	1.5	2.1	11.6	11.0
45.2	38.7	16.1	16.1	—	3.2	9.7	6.5
39.1	27.6	25.3	21.8	2.3	2.3	11.5	12.6
31.7	35.4	28.0	11.0	2.4	2.4	14.6	7.3
25.8	24.2	25.8	11.3	—	1.6	9.7	8.1
20.0	22.2	17.8	6.7	—	2.2	13.3	15.6
14.3	14.3	23.8	9.5	4.8	—	4.8	23.8
—	20.0	20.0	20.0	—	—	20.0	40.0
31.6	24.8	25.6	8.3	1.5	—	16.5	10.5
30.6	31.2	22.4	15.9	0.6	0.6	7.6	11.2
40.0	30.0	30.0	30.0	10.0	30.0	10.0	5.0

第13表 仕事をもつかどうかについて話しあったか(年令別、学歴別)

(%)

			総 数	話しあった	話しあわない	覚えていない
都 市 団 地	年 令 別	計	(1161)100.0	58.5	37.7	3.8
		20~24才	(61)100.0	72.1	27.9	—
		25~29	(297)100.0	64.3	32.0	3.7
		30~34	(371)100.0	63.6	33.4	3.0
		35~39	(235)100.0	55.3	39.6	5.1
		40~44	(126)100.0	41.3	53.9	4.8
		45~49	(71)100.0	36.6	57.8	5.6
	学 歴 別	小学校以下	(2)100.0	50.0	50.0	—
		高小・新中	(158)100.0	52.5	41.8	5.7
		旧中・新高	(769)100.0	58.3	38.1	3.6
		高専・大学	(232)100.0	63.4	33.6	3.0
農 村	年 令 別	計	(1276)100.0	35.7	59.3	5.0
		20~24才	(55)100.0	80.0	20.0	—
		25~29	(164)100.0	58.5	38.4	3.1
		30~34	(221)100.0	47.5	48.4	4.1
		35~39	(258)100.0	32.9	63.6	3.5
		40~44	(292)100.0	25.0	66.8	8.2
		45~49	(286)100.0	18.2	75.9	5.9
	学 歴 別	小学校以下	(70)100.0	21.4	71.4	7.2
		高小・新中	(663)100.0	30.0	64.4	5.6
		旧中・新高	(486)100.0	42.2	53.5	4.3
		高専・大学	(57)100.0	63.1	35.1	1.8

第14表 夫と妻の学歴比較（妻の年齢別）

（％）

		総 数	夫 が 上	妻 が 上	同 学 歴	不 明
都 市 団 地	計	(1,161) 100.0	37.9	4.2	57.9	—
	20～24才	(61) 100.0	32.8	6.5	60.7	—
	25～29	(297) 100.0	34.0	4.4	61.6	—
	30～34	(371) 100.0	36.4	3.5	60.1	—
	35～39	(232) 100.0	40.0	3.8	56.2	—
	40～44	(126) 100.0	46.0	4.0	50.0	—
	45～49	(71) 100.0	45.1	7.0	47.9	—
農 村	計	(1,276) 100.0	17.9	10.6	71.4	0.1
	20～24才	(55) 100.0	14.5	12.7	72.8	—
	25～29	(164) 100.0	15.2	11.0	73.8	—
	30～34	(221) 100.0	18.1	8.6	73.3	—
	35～39	(258) 100.0	16.7	12.8	70.5	—
	40～44	(292) 100.0	18.5	9.6	71.6	0.3
	45～49	(286) 100.0	20.6	10.5	68.9	—

第15表 妻の父の職業（夫の父の職業別）

	妻の父の職業 夫の父の職業		総 数	雇 用				
				計	管理、専門 技術、事務職	労 務 職	販 売 サービス	
都 市 団 地	計		(1,161)1000	45.6	38.0	4.2	2.5	
	雇 用	小 計	(471)1000	56.3	46.5	6.2	2.8	
		管理、専門 技術、事務	(380)1000	59.5	52.4	3.9	2.1	
		労 務 職	(49)1000	51.0	22.4	24.5	4.1	
		販売サービス	(27)1000	40.7	25.9	3.7	11.1	
		そ の 他	(15)1000	20.0	13.3	6.7	—	
	自 営	小 計	(521)1000	38.0	31.7	2.9	2.3	
		農 林 漁 業	(172)1000	30.8	22.1	4.1	3.5	
		商工サービス	(286)1000	39.2	35.3	1.7	1.0	
		自 由 業	(63)1000	52.4	41.3	4.8	4.8	
		無 職	(101)1000	37.6	32.7	2.0	3.0	
	不 明		(68)1000	42.7	35.3	4.4	1.5	
	農 村	計		(1,276)1000	20.5	13.0	5.3	0.7
		雇 用	小 計	(211)1000	37.0	22.8	9.0	1.9
管理、専門 技術、事務			(120)1000	36.7	33.3	0.8	0.8	
労 務 職			(71)1000	39.4	7.0	23.9	2.8	
販売サービス			(14)1000	28.6	14.3	7.1	7.1	
そ の 他			(6)1000	33.3	16.7	—	—	
自 営		小 計	(977)1000	16.2	10.7	3.8	0.5	
		農 林 漁 業	(715)1000	13.3	8.0	3.9	0.3	
		商工サービス	(220)1000	22.7	17.3	3.6	0.9	
		自 由 業	(52)1000	30.9	23.8	0.2	0.2	
		無 職	(60)1000	26.7	13.3	13.3	—	
不 明		(28)1000	32.2	17.9	10.7	—		

(%)

そ の 他	自 営				無 職	不 明
	計	農 林 漁 業	商 工 サ ー ビ ス	自 由 業		
0.9	45.0	13.0	25.2	6.7	6.6	2.8
0.8	36.7	11.3	19.3	6.2	5.1	1.9
1.1	34.7	10.3	17.6	1.6	4.2	1.6
—	36.7	10.2	22.4	4.1	8.2	4.1
—	48.2	14.8	29.6	3.7	11.1	—
—	66.6	33.3	33.3	—	6.7	6.7
1.2	54.1	15.2	31.5	7.5	5.4	2.5
1.2	59.9	23.8	31.4	4.7	5.8	3.5
1.0	53.9	12.2	35.0	6.6	5.2	1.7
1.6	39.7	4.8	15.9	19.0	4.7	3.2
—	40.6	13.9	19.8	6.9	15.9	5.9
1.5	38.2	7.4	26.5	4.4	13.2	5.9
1.5	75.5	58.2	14.3	3.0	3.0	1.0
3.3	57.8	39.8	15.2	2.8	5.2	—
1.7	56.6	37.5	15.8	3.3	6.7	—
5.6	56.4	40.8	14.1	1.4	4.2	—
—	71.4	50.0	14.3	7.1	—	—
16.7	66.7	50.0	16.7	—	—	—
1.1	80.6	64.5	13.9	3.2	2.1	1.1
1.1	83.6	71.2	10.5	2.0	2.0	1.1
0.9	73.7	46.4	24.5	2.7	2.7	0.9
0.2	64.3	21.4	16.7	26.2	2.4	2.4
—	61.6	41.7	20.0	—	11.7	—
3.6	60.7	46.4	10.7	3.6	—	7.1

第16表 男に生れたいか女に生れたいか（年令別、学歴別、職業別）
（ 都 市 団 地 ）

		総 数	女 に 生 れ た い					
			計	職業の苦 労がない	たのしみ が 多 い	家事や育 児が好き	現在満足	そ の 他
計		(1,161)1000	47.3 (1000)	(21.3)	(11.8)	(17.1)	(47.9)	(7.7)
年 令 別	20～24才	(61)1000	54.1 (1000)	(12.1)	(15.2)	(9.1)	(60.6)	(6.1)
	25～29	(297)1000	48.8 (1000)	(20.7)	(11.0)	(17.9)	(50.3)	(4.8)
	30～34	(371)1000	45.8 (1000)	(25.3)	(12.9)	(20.0)	(42.9)	(7.6)
	35～39	(235)1000	47.6 (1000)	(19.6)	(10.7)	(14.3)	(48.2)	(9.8)
	40～44	(126)1000	45.2 (1000)	(19.3)	(10.5)	(15.8)	(49.1)	(10.5)
	45～49	(71)1000	45.1 (1000)	(18.8)	(12.5)	(18.8)	(46.9)	(9.4)
学 歴 別	小学校以下	(2)1000	100.0 (1000)	(—)	(—)	(—)	(50.0)	(50.0)
	高小・新中	(158)1000	55.1 (1000)	(19.5)	(5.7)	(19.5)	(54.0)	(4.6)
	旧中・新高	(769)1000	47.7 (1000)	(22.9)	(14.2)	(15.5)	(46.3)	(7.4)
	高専・大学	(232)1000	40.1 (1000)	(16.1)	(8.6)	(21.5)	(48.4)	(10.8)
職 業 別	雇 用	(162)1000	36.4 (1000)	(20.3)	(11.9)	(8.5)	(61.0)	(3.4)
	自 営	(35)1000	48.6 (1000)	(17.6)	(17.6)	(23.5)	(35.3)	(11.8)
	内 職	(114)1000	42.1 (1000)	(25.0)	(10.4)	(20.8)	(31.3)	(16.7)
	無 職	(850)1000	50.0 (1000)	(20.9)	(11.8)	(17.6)	(48.5)	(7.1)

（注）多答のため各項の計は100%をこえる。

(%)

男 に 生 れ た い							どちらとも いえない
計	能力が 伸ばせる	たのしみ が多い	好きなこと ができる	いばって いられる	家事育児の 苦勞がない	その他	
38.8							13.9
(100.0)	(65.4)	(6.2)	(22.4)	(2.0)	(8.6)	(6.4)	
32.8							13.1
(100.0)	(65.0)	(ー)	(20.0)	(10.0)	(10.0)	(10.0)	
36.7							14.5
(100.0)	(56.9)	(5.5)	(30.3)	(2.8)	(14.7)	(5.5)	
42.3							11.9
(100.0)	(68.2)	(4.4)	(21.7)	(0.6)	(7.0)	(6.4)	
36.2							16.2
(100.0)	(72.9)	(8.2)	(12.9)	(1.2)	(4.7)	(8.2)	
43.7							11.1
(100.0)	(60.0)	(10.9)	(29.1)	(1.8)	(2.3)	(5.5)	
35.2							19.7
(100.0)	(72.0)	(8.0)	(12.0)	(4.0)	(8.0)	(12.0)	
—							—
(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	(ー)	
34.8							10.1
(100.0)	(58.2)	(10.9)	(27.3)	(1.8)	(12.7)	(5.5)	
38.5							13.8
(100.0)	(64.2)	(5.4)	(23.6)	(2.4)	(8.4)	(5.4)	
43.1							16.8
(100.0)	(73.0)	(6.0)	(16.0)	(1.0)	(7.0)	(10.0)	
41.4							22.2
(100.0)	(61.2)	(7.5)	(26.9)	(1.5)	(14.9)	(4.5)	
40.0							11.4
(100.0)	(64.3)	(14.3)	(28.6)	(ー)	(7.1)	(ー)	
48.3							9.6
(100.0)	(70.9)	(3.6)	(21.8)	(ー)	(9.1)	(10.9)	
37.1							12.9
(100.0)	(65.4)	(6.0)	(21.3)	(2.5)	(7.3)	(6.3)	

(農 村)

		総 数	女 に 生 れ た い					
			計	職業の苦 労がない	たのしみ が多い	家事や育 児が好き	現在満足	その他
計		(1276)1000	42.1 (100.0)	(20.9)	(7.4)	(19.0)	(49.2)	(10.6)
年 令 別	20～24	(55)1000	38.2 (100.0)	(14.3)	(4.8)	(9.5)	(76.2)	
	25～29	(164)1000	40.2 (100.0)	(22.7)	(7.6)	(16.7)	(48.5)	(9.1)
	30～34	(221)1000	43.0 (100.0)	(17.9)	(9.5)	(28.4)	(46.3)	(7.4)
	35～39	(258)1000	43.0 (100.0)	(22.5)	(9.9)	(18.0)	(42.3)	(11.7)
	40～44	(292)1000	39.7 (100.0)	(21.6)	(8.6)	(17.2)	(51.7)	(10.3)
	45～49	(286)1000	44.8 (100.0)	(21.1)	(3.1)	(17.2)	(50.8)	(14.8)
学 歴 別	小学校以下	(70)1000	40.0 (100.0)	(17.9)	(10.7)	(10.7)	(42.9)	(21.4)
	高小・新中	(663)1000	41.5 (100.0)	(20.7)	(6.5)	(21.5)	(50.5)	(9.5)
	旧中・新高	(486)1000	44.0 (100.0)	(22.9)	(7.5)	(16.8)	(48.1)	(10.7)
	高専・大学	(57)1000	35.1 (100.0)	(5.0)	(15.0)	(20.0)	(50.0)	(10.0)
職 業 別	雇 用	(378)1000	37.0 (100.0)	(20.0)	(7.1)	(17.9)	(47.9)	(12.1)
	自 営	(526)1000	41.3 (100.0)	(20.7)	(6.9)	(19.4)	(50.7)	(9.7)
	内 職	(142)1000	52.8 (100.0)	(25.3)	(9.3)	(25.3)	(44.0)	(6.7)
	無 職	(230)1000	45.7 (100.0)	(19.0)	(7.6)	(15.2)	(51.4)	(13.3)

(注) 多答のため各項の計は100%をとえる。

(%)

計	男 子 生 徒 に 対 し						どちらとも いえない
	能力が 伸ばせる	たのしみ が多い	好きなこと ができる	いばって いられる	家事育児の 苦勞がない	そ の 他	
45.3							12.6
(100.0)	(46.2)	(8.5)	(31.0)	(6.2)	(17.6)	(7.1)	
45.4							16.4
(100.0)	(52.0)	(一)	(24.0)	(8.0)	(24.0)	(8.0)	
48.8							11.0
(100.0)	(45.0)	(8.8)	(41.3)	(1.3)	(11.3)	(1.3)	
46.2							10.8
(100.0)	(51.0)	(10.8)	(26.5)	(7.8)	(17.6)	(6.9)	
45.0							12.0
(100.0)	(38.8)	(11.2)	(31.9)	(5.2)	(19.8)	(11.2)	
45.2							15.1
(100.0)	(50.8)	(8.3)	(28.8)	(6.1)	(20.5)	(6.8)	
43.0							12.2
(100.0)	(43.1)	(5.7)	(30.9)	(8.9)	(15.4)	(7.3)	
47.1							12.9
(100.0)	(24.2)	(一)	(39.4)	(3.0)	(24.2)	(21.2)	
44.8							13.7
(100.0)	(36.0)	(11.4)	(33.7)	(8.4)	(18.2)	(6.7)	
45.1							10.9
(100.0)	(49.8)	(6.4)	(26.9)	(4.1)	(16.4)	(4.6)	
50.9							14.0
(100.0)	(69.0)	(3.4)	(24.1)	(3.4)	(13.8)	(13.8)	
49.5							13.5
(100.0)	(48.1)	(7.0)	(31.6)	(7.0)	(15.5)	(10.7)	
45.8							12.9
(100.0)	(42.7)	(10.0)	(34.0)	(7.1)	(19.5)	(4.6)	
38.0							9.2
(100.0)	(53.7)	(5.5)	(24.1)	(1.9)	(14.8)	(13.0)	
41.7							12.6
(100.0)	(45.8)	(9.4)	(26.0)	(5.2)	(18.8)	(3.1)	

婦人の地位に関する実態調査

秘

調 査 票

昭和47年12月

労働省婦人少年局

地 点 番 号

サ ン プ ル 名

調 査 員

調 査 日

 昭和 年 月 日

【はじめの挨拶の要領】

わたくしは労働省婦人少年局からまいりました調査員です。ただいま婦人少年局では、婦人の生活についての調査を全国でおこなっております。この町(村)の方々の中からくじ引きのような方法でえらびましたところ、あなたがその一人に当たりましたので、今日はあなたのところへおうかがいしました。

この調査は婦人少年局が婦人のくらし方や考え方の傾向を知って仕事上の参考にするためにおこなうものです。したがって税務署や警察などとは何の関係もありません。また、結果はすべて統計表の形で整理いたしますので、あなたのお名前が外部に出たり、あなたのお答が他人にもれたりするようなことは絶対にありません。おいそがしいところをお邪魔したいへん恐縮ですが、しばらくの間お願いいたします。

問 1. あなたのご家族は何人ですか？

〔注：家計を共にする同居家族。ただし出稼ぎや就学のため現在家にいない者も家族に含める〕

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1. 2 人 | 2. 3 人 | 3. 4 人 |
| 4. 5 人 | 5. 6 人 | 6. 7人以上 |

問 2. あなたのお年は満でおいくつですか？

 歳

問 3. あなたのご主人は満でいくつですか？

歳

問 4. あなたとご主人のご両親のうちあなたといっしょにいらっしゃっている方がいますか？

1. 本人(妻)の父	2. 本人(妻)の母	3. 夫の父
4. 夫の母	5. 同居の親なし	

問 5. ご主人のきょうだいでああなたといっしょにいらっしゃっている方がいますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問 6. お子さんはおありですか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問 7. あなたが最後に行かれた学校はどこですか？

〔注：中退、在学中を含み、各種学校を除く〕

1. 小学校以下
2. 旧制高小、新制中
3. 旧制中、新制高
4. 旧制高専、短大、新制大、旧制大

問 8. ご主人が最後に行かれた学校はどこですか？

〔注は前問に同じ〕

1. 小学校以下
2. 旧制高小、新制中
3. 旧制中、新制高
4. 旧制高専、短大、新制大、旧制大

問 9. あなたは現在家事のほか何か仕事をもっておいでですか？（内職を含みます）

〔注：団体役員等の名義職は含まない。2種類以上の仕事をもっている場合は働く時間の長い方をとる。〕

- A 雇 用 { 1. 普通 の 勤 務
(勤 め) { 2. パートタイム
- B 自 営 業 { 3. 農 林 漁 業
{ 4. 商 業, 工 業, サ ー ビ ス 業
{ 5. 自 由 業 { 注：開業医, 弁護士, 小説家, 俳優
等 で 他 人 に 雇 わ れ て い な い も の

〔注：自営業には自営業主および家族従業者を含む〕

C 内 職

D 無 職

〔注：どこに分類してよいか分からないときは仕事を具体的に記入〕

問 10. あなたは結婚前に何か仕事をもっておいででしたか？（内職を含みます）

- A 雇 用 { 1. 普通 の 勤 務
(勤 め) { 2. パートタイム
- B 自 営 業 { 3. 農 林 漁 業
{ 4. 商 業, 工 業, サ ー ビ ス 業
{ 5. 自 由 業
- C 内 職
- D 無 職 { 注は前問に同じ

問 11. 〔前2問で現在も結婚前も“雇用”の人へきく〕

あなたは結婚前からいままで大体ずっとつづけてどこかに勤めておられましたか？

1. 大体つづけて勤めていた
2. 一時期中断していた（何年位）
3. 断続的に勤めていた
4. そ の 他（記入）

問 12. [問9で現在“雇用”の人へきく]

あなたはこれからさき勤め先をかえることがあるとしても、勤めは続けるつもりですか。
いつまで続けるつもりですか？

1. 間もなくやめるつもり
2. 子どもが生れるまで
3. つづく限り長く
4. 定年まで
5. その他(記入)
6. わからない

問 13. あなたのご主人はどんな仕事についておられますか？

- | | | |
|-------|---|------------------|
| A 雇 用 | { | 1. 管理職、専門技術職、事務職 |
| | | 2. 労 務 職 |
| | | 3. 販売、サービス |
| | | 4. そ の 他 |
| B 自 営 | { | 5. 農林漁業 |
| | | 6. 商業、工業、サービス業 |
| | | 7. 自 由 業 |
| C 無 職 | | |

[注：どこに分類してよいか分からないときは、仕事を具体的に記入]

問 14. [問9で“無職”の人へきく]

あなたはご自分に収入がないことで、ご主人に対してひけ目を感じることがありますか？

1. 大いに感じる
2. ときどき感じる
3. ほとんど感じない
4. 全く感じない

問 15. お宅では家計をとりしきっておられるのはどなたですか？

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 本人(妻) | 2. 夫 |
| 3. 夫の親 | 4. 本人(妻)の親 |
| 5. その他 (誰か) | |

問 16. a) [問6で子供のある人に]お宅では子どものしつけや教育について、どなたが中心になって考えますか。まず、しつけはどうですか？

- | |
|--------------------|
| 1. 本人(妻)が中心 |
| 2. 夫が中心 |
| 3. 夫と本人(妻)の両方 |
| 4. その他の家族が中心 (誰か) |
| 5. 誰が中心ともいえない |
| 6. わからない |

b) では、進字のことなど教育についてはどうですか？

- | |
|--------------------|
| 1. 本人(妻)が中心 |
| 2. 夫が中心 |
| 3. 夫と本人(妻)の両方 |
| 4. その他の家族が中心 (誰か) |
| 5. 誰が中心ともいえない |
| 6. わからない |

問 17. あなたは出産や子どものしつけ方、育て方についての知識をどこから学びますか？

[該当するものにいくつでも○をつける]

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 親 | 2. その他の家族、親類 |
| 3. 近所の人 | 4. 職場の人 |
| 5. グループの人 | 6. テレビ、ラジオ |
| 7. 雑誌や本 | 8. 講演会などの催し |
| 9. その他 (記入) | |

問 18. お宅では、貯金の通帳はどなたの名前になっていますか？（子供さんやお年寄が自由にためておられるものを除いて家庭のものだけを答えて下さい。貯金は、郵便局、銀行、農協などにあずけたものをみんな含みます。いろいろな名前が使ってあればみんなおっしゃって下さい。）

1. 夫の名義
2. 本人（妻）の名義
3. 夫と本人（妻）の共同名義
4. その他の家族の名義をかりている
5. 貯金はない

問 19. [前問の答が5の人を除く]お宅では、そういう貯金のおし入れをするのは、おもにどなたですか？

1. 本人（妻）
2. 夫
3. その他の家族
4. きまっていない

問 20. a) あなたが結婚前からもっておられた貯金や有価証券などはあなたの自由になりますか？（すでに使ってしまったのでしたら使ってしまうまでは、あなたの自由になりましたか？）

1. 自由になる（なった）
2. 自由にならない（ならなかった）
3. 時による
4. 結婚前からもっていた貯金等はない

b) [自由にならないといった人に]それはなぜですか？

1. 夫が管理しているから
2. その他の家族が管理しているから
3. 家族全体のものだから
4. その他（記入 ）

問 2 1. a) あなたのおすまいはお宅の持家ですか、かりた家ですか？

- | | |
|--------|---------|
| 1. 持 家 | 2. かりた家 |
|--------|---------|

b) [“持家”の人に]家はどなたのものになっていますか？（登記の名義は誰ですか？）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 夫の名義 |
| 2. 本人（妻）の名義 |
| 3. 夫と妻の共同名義 |
| 4. その他の家族の名義 |
| 5. その他 （記入 ） |
| 6. わからない |

問 2 2. 日本の法律では、夫婦の仲がうまくいかなくて離婚する場合、ふつう妻は夫に対して自分の協力した分として一定額の財産を分けてほしいと請求することができます。これを財産分与請求権といいます。

そこで、たとえばお宅で結婚後1,000万円の財産ができていたとして、もしかりに別れることになったとしたら、あなたは自分の協力の分としていくら分けてほしいと主張しますか？

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1. （ ）万円を請求する | 2. わからない |
| 3. 請求しない | |

問 2 3. a) 話は変わりますが、あなたは町内会、自治会、婦人会など地域の団体の役員や、せわ役などをしたことがありますか？

- | | |
|----------------|--------|
| 1. あ る（現在している） | 2. な い |
|----------------|--------|

b) 将来もしたのまれば、あなたは引受けますか？

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 1. 引受ける | 2. 場合による |
| 3. 引受けない | 4. その他 （記入 ） |

問 2 4. あなたがふだんよく付合っておられる相手はどんな人たちですか？（あなたとどういう関係の方たちですか？）

〔注：該当するものにいくつでも○〕

1. 隣近所の人たち
2. 子どもの友だちの親
3. 地元の婦人会、町内会、自治会の仲間
4. 職場の人たち、仕事仲間
5. 趣味、勉強などの仲間、宗教の仲間
6. 学校友だち
7. 同居以外の親類
8. その他（記入 ）
9. 特別にはいない

問 2 5. あなたは都道府県や市町村から配られてくる新聞やニュースを読んでいますか？

1. いつも読む
2. ときどき読む
3. ほとんど（全く）読まない
4. そのようなものは見たことがない
5. その他（記入 ）

問 2 6. あなたは気にかかることや心配ごとを相談する相手をおもちですか？それは誰ですか？

〔該当するものにいくつでも○〕

1. 夫
2. その他の家族、親類
3. 近所の人
4. 職場の人
5. グループの人
6. その他（記入 ）
7. 相談相手はない

問 27. たとえば、あなたの近所の家でラジオの深夜放送を大きな音でかけるので、お宅やまわりの家が迷惑しておられるとします。こんなとき、あなたはどうなさいますか？（もしこれに似た経験がおありでしたら、そのときどうなさったかをおっしゃって下さい。）

1. その家の人と話しあう
2. とく名の手紙を出す
3. 名前を明記して手紙を出す
4. 第三者にたのんでかけあってもらう
5. 何もしないでがまんする
6. その他（記入）

問 28. ご結婚前のことをうかがいますが、あなたはご主人とどのような関係で知りあわれましたか？

1. 親類関係だった
2. 家族、親類の直接間接の知りあい
3. 友人の知りあい
4. 近所どうし
5. 職場関係
6. 学校関係
7. サークル活動、クラブ活動で知りあった
8. 市民活動で知りあった
9. 娯楽場、レクリエーションで知りあった
10. その他（記入）

問 29. a) あなたがご主人とはじめて知りあわれたのは誰かに紹介されたのですか、それとも直接知りあわれたのですか？

1. 紹介された
2. 直接知りあった

b) [答が1の人に] それは結婚相手として紹介されたのですか？

1. 結婚相手として紹介された
2. そうではない

問 30. a) あなたとご主人のご結婚は、おふたりできめられましたか、それとも親ごさんとか、近しい人にすすめられておきめになりましたか？

〔ふたりできめたと答えた人には“親ごさんなどは反対なさいませんでしたか？”ときく。親（または近しい人）にすすめられてと答えた人には“あなたは満足でしたか？”ときく〕

- | | | |
|----------------------|---|-------------------|
| 1. ふたりできめた | { | a 親（または近しい人）は反対 |
| | | b 親（または近しい人）の反対なし |
| 2. 親（または近しい人）にすすめられて | { | a 自分は満足 |
| | | b 自分はだいたい満足 |
| | | c 自分は不満 |

b) 〔ふたりできめたと答えた人に〕では、おふたりのうち、どちらが熱心に結婚をのぞきましたか。しいていえばどちらですか？

1. 本人（妻）
2. 夫
3. どちらともいえない（同じくらい）
4. わからない

問 31. おふたりは婚約中どのていどの交際をなさいましたか？

1. 自由に交際した（ふたりでたびたび会った）
2. 時々会ったていど
3. 文通だけ
4. ほとんど（全く）交際しなかった
5. その他（記入）

問 32. 〔前問の答が1.の人に〕当時おふたりは結婚後の生活設計について、おもにどんなことについて話しあわれましたか？

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 家計のこと | 2. 家庭での夫と妻の役割の分担のこと |
| 3. 夫の職業のこと | 4. 本人（妻）の職業のこと |
| 5. 住居のこと | 6. 親のこと |
| 7. 子どものこと | 8. 余暇のすごし方、趣味 |
| 9. 政治のこと | 10. その他のこと（記入） |
| 11. 話しあわなかった | 12. おぼえていない |

問 3.3. a) 結婚後あなたが家事以外の仕事をもつかどうかについて、結婚前におふたりで話しあわれたことがありますか？

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 話しあった | 2. 話しあわない |
| 3. 覚えていない | |

b) [答が1の人に] 話しあいの結果はどうきまりましたか？
お二人のうちおもにどちらの意見でそうきまりましたか？

- | | |
|------------------|--|
| 1. ずっと仕事をもつことにした | <ul style="list-style-type: none"> a. 主に本人(妻)の意見で b. 主に夫の意見で c. ふたりの意見が合致して |
| 2. 当分仕事をもつことにした | <ul style="list-style-type: none"> a. 主に本人(妻)の意見 b. 主に夫の意見で c. ふたりの意見が合致して |
| 3. 家業に従事することにした | <ul style="list-style-type: none"> a. 主に本人(妻)の意見で b. 主に夫の意見で c. ふたりの意見が合致して |
| 4. 仕事は何もしないことにした | <ul style="list-style-type: none"> a. 主に本人(妻)の意見で b. 主に夫の意見で c. ふたりの意見が合致して |
| 5. その他
(記入) | <ul style="list-style-type: none"> a. 主に本人(妻)の意見で b. 主に夫の意見で c. ふたりの意見が合致して |
| 6. とくに何もきめなかった | |

[注：自分の仕事とは勤め、自営、自由業を含む。

家業とは家の商売や農業などのこと]

問 3 4. あなたのご結婚当時、あなたの実家のお父さんは、どういう仕事をしておられましたか？

1. 雇 用	a. 管理職、専門技術職、事務職 b. 労務職 c. 販売、サービス d. その他（記入 ）
2. 自 営	e. 農林漁業 f. 商業、工業、サービス g. 自由業
3. 無 職	
4. 不 明	

〔注1：どこに分類してよいか分らないときは、仕事を具体的に記入〕

〔注2：結婚当時父がすでに死亡していた場合は生存中の職業について書く〕

問 3 5. あなたのご主人のお父さんは、どういう仕事をしておられましたか？

1. 雇 用	a. 管理職、専門技術職、事務職 b. 労務職 c. 販売、サービス d. その他（記入 ）
2. 自 営	e. 農林漁業 f. 商業、工業、サービス g. 自由業
3. 無 職	
4. 不 明	〔注は前問に同じ〕

問 3 6. 財産とか収入の面では、あなたの実家とご主人の実家とでは、どちらが上でしたか？

1. 本人（妻）の実家の方が上
2. 夫の実家の方が上
3. 同じ位
4. わからない

問 37. a) あなたは結婚で姓(みょうじ)が変わりましたか?

- | | |
|--------|---------|
| 1. 変った | 2. 変らない |
|--------|---------|

b) [答が1の人に]あなたは姓が変わることをどう感じになりましたか。うれしい気がしましたか。それともできれば変えたくない気がしましたか?

- | |
|------------------|
| 1. うれしい気がした |
| 2. 何とも思わなかった |
| 3. できれば変えたくないかった |

c) [変えたくないかった人に]変えたくないかったのはなぜですか?

[該当するものにはいくつでも○]

- | |
|---------------------|
| 1. 元の姓が好きだから |
| 2. 不便だから |
| 3. 女だけ姓をかえるのは抵抗を感じる |
| 4. 何となく |
| 5. その他 (記入) |

問 38. あなたとご主人は共通の趣味や、たのしみをもっておられますか?

- | |
|--------------|
| 1. もっている |
| 2. もっていない |
| 3. その他 (記入) |

問 39. a) あなたは一口でいって現在の生活に満足していますか?

b) どんな点に不満がありますか?

[注: bは、満足なものには、不満は全くありませんか。あればどんな点ですか。ときく]

- | | | |
|---|---|-----------------|
| a | { | 1. 満 足 |
| | | 2. まず満足 |
| | | 3. 時による |
| | | 4. 不満の点がある |
| | | 5. 不 満 |
| b | { | 1. 不満全くなし |
| | | 2. 不満な点(くわしく記入) |

問 4 0. あなたは、社会的な地位の高い人（たとえば有名な実業家とか学者など）になると、そのような人の妻になると、どちらにでもなれるとすれば、どちらになりたいですか？

1. 地位の高い人
2. 地位の高い人の妻
3. どちらにもなりたくない
4. わからない

問 4 1. あなたはもしもう一度生れ変わるとすれば、女に生まれたいですか、男に生まれたいですか？それはなぜですか？〔女（男）の方が損（とく）だからというような答をした人には、" どのような点ですか？" ともう一度きき返す〕

- | | | |
|--------------|---|--|
| 1. 女に生れたい | { | <ul style="list-style-type: none"> a. 女は職業の苦勞がないから b. 女の方がたのしみが多いから c. 家事や育児が好きだから d. 現在満足だから e. その他（記入 ） |
| 2. 男に生れたい | { | <ul style="list-style-type: none"> a. 男の方が能力が伸ばせるから b. 男の方がたのしみが多いから c. 男の方が好きなことができるから d. 男の方がいばってられるから e. 家事や育児の苦勞がないから f. その他（記入 ） |
| 3. どちらともいえない | | |

問 4 2. お宅では、家族全体で昨年一年間の収入は、どの位でしたか？

〔注：雇用者世帯では収入は税金を除いた手取り額、家業の場合は家計収入とする。〕

1. 20万円未満
2. 20万円 ～ 50万円未満
3. 50万円 ～ 70万円未満
4. 70万円 ～ 100万円未満
5. 100万円 ～ 150万円未満
6. 150万円 ～ 200万円未満
7. 200万円 ～ 300万円未満
8. 300万円以上
9. 不 明